

# 第2次四條畷市行財政改革プラン総括・報告書

---

計画期間 平成29（2017）年度－令和3（2021）年度

令和4（2022）年 9月



# も く じ

1	はじめに.....	1
2	第2次四條畷市行財政改革プランの概要	
	(1) 策定の趣旨.....	1
	(2) 目標設定.....	2
	(3) 位置づけと期間.....	2
	(4) 枠組み.....	2
	(5) 進捗管理を役割分担.....	3
3	取り組みの成果及び効果	
	(1) 目標に対する成果.....	3
	(2) 取り組みによる効果額.....	5
4	まとめ.....	6
	《 資 料 》.....	7
○	用語の解説.....	8
○	行革プラン進捗管理チェックシート	
	方針1に関する取り組み.....	9
	方針2に関する取り組み.....	33
	方針3に関する取り組み.....	44

## 1. はじめに

本市は、平成2年度以降、社会情勢の変化に応じ連続して行った大型建設事業による公債費の増加が負担となり、平成9年度から19年度までの11年間、実質収支の赤字が続き、一時は累積赤字が13億円を超えるなど「財政再建団体」への転落が危ぶまれる状態でした。

「財政再建団体」への転落危機を回避するため、平成11年度から、継続的な行財政改革に取り組んだ結果、平成20年度には12年ぶりに黒字に転換し、令和3年度決算まで、実質収支の黒字を維持しています。

第2次四條畷市行財政改革プランは、限られた財源と職員により、少子高齢化や多様化する市民サービスへの対応し、魅力あるまちづくりを実行できる行財政基盤を構築するために、平成29年度に策定されました。そして、令和3年度までの5年間、このプランに基づき様々な取り組みを行ってきました。この度、取組期間が終了しましたので、総括の報告をいたします。

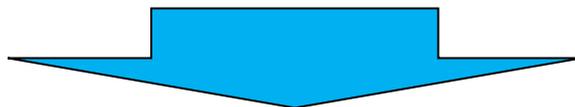
## 2. 第2次四條畷市行財政改革プランの概要

### (1) 策定の趣旨

#### [ 策定時の状況 ]

平成9年度に実質収支が赤字に転じて以降、実施してきた財政健全化の取り組みにより、財政構造は一定改善しました。しかし、経常収支比率等の数値は、全国及び類似団体の平均と比較すると依然高い状況でした。

また、高齢化の進展による社会保障費の増、四條畷市交野市清掃施設組合の新炉建設にかかる償還負担金、下水道事業会計への出資金、中学校整備事業実施による公債費の増加、人口の減少に伴う市税の減などにより、今後、財政状況は厳しくなっていくものと見込まれる状況でした。



#### [ 策定趣旨 ]

地方分権による業務の増加、多様化する市民ニーズに、限られた人材と財源で対応していくため、市役所内の生産性の向上と更なる財政構造の改善が必要であるという認識のもと、平成30年1月に第2次四條畷市行財政改革プランを策定いたしました。

## (2) 目標設定

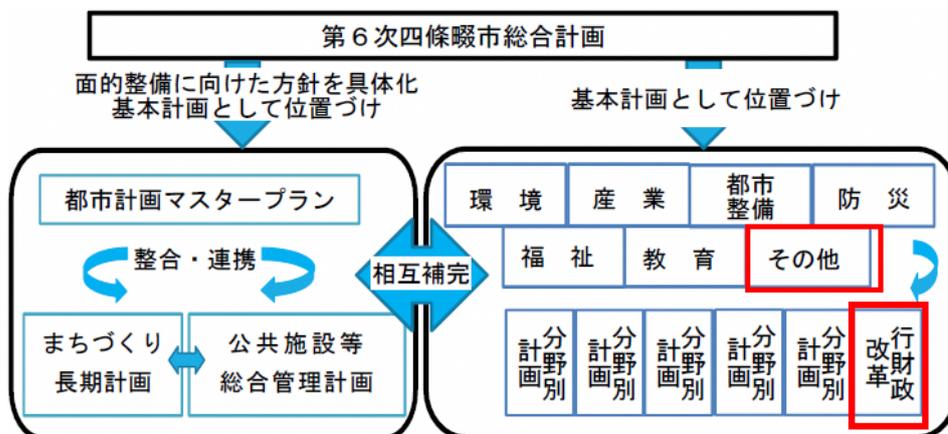
計画全体の目標として、次のⅠからⅣの項目を設定しました。

- Ⅰ 実質収支黒字の堅持 ※ 平成28年度決算と同程度を想定  
(実質収支比率 3.9%、実質収支額 4 億円)
- Ⅱ 基金残高の保持・・・財政調整基金 19 億円、公共施設整備基金 25 億円
- Ⅲ 経常収支比率の維持・・・93.5%
- Ⅳ 実質公債費比率の堅持・・・6.6%

## (3) 位置づけと期間

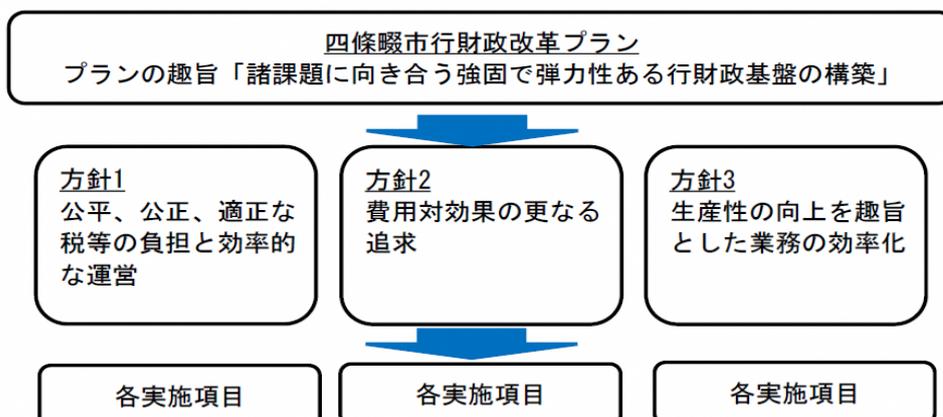
第2次四條畷市行財政改革プランは、市の最上位計画である「第6次四條畷市総合計画」(平成28年3月策定)の基本構想5「確かな未来を築く行財政運営に向けた体制づくり」を実現するための基本方針として策定されました。

計画期間は、策定から令和3年度末までです。



## (4) 枠組み

第2次四條畷市行財政改革プランの枠組みは図のように構成されています。



### (5) 進捗管理を役割分担

市長を本部長とする行財政改革推進本部のもと、年次別の実施スケジュールに基づき、下表の区分に基づき進捗管理を行ってまいりました。

また、取り組みの実施状況については、ホームページにて公表しています。

取組み項目	取組みの実施責任者	進捗管理	進捗の評価者	評価の頻度
全庁的取組み	行革担当部長	行革担当課長	行革推進本部	半期ごと
課を超えた取組み	主担部長		副市長	四半期ごと
各課の取組み	課長		行革担当部長	四半期ごと

## 3. 取り組みの成果及び効果

### (1) 目標に対する成果

#### I 実質収支黒字の堅持

目標達成

歳入歳出に差引額から、翌年度へ繰越すべき財源を控除した額で算出される実質収支は、実質的な黒字・赤字を示すことから、自治体の財政状況を判断する重要な指標です。

本計画では、黒字の堅持を目標に掲げ、平成28年度決算額と同程度の額の維持を想定し取り組みを進めました。

結果は、想定値には及ばなかったものの、黒字を維持することができました。

	(参考)	各年度末実績					想定値
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
実質収支額	4.40億円	3.74億円	4.05億円	4.22億円	1.74億円	2.92億円	4億円
実質収支比率	3.9%	3.2%	3.5%	3.6%	1.4%	2.3%	3.9%

## II 基金残高の保持

目標達成

本市では、特定の目的に備えて資金を積み立てるため、条例に基づき基金を設置しています。

本計画では、年度間で生じる財源の不均衡を調整し、災害などの不測の事態の備えにもなる財政調整基金と、老朽化した公共施設の再整備等に充てることができる公共施設整備基金について、令和3年度末時点での目標残高を定めていました。

結果は、財政調整基金は目標値19億円に対して23.3億円、公共施設整備基金は目標値25億円に対して29.1億円となり、いずれも目標残高を上回る実績となりました。

	(参考)	各年度末実績					計画目標値等
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財政調整基金残高	18.7億円	15.9億円	16.0億円	18.1億円	20.2億円	23.3億円	19億円
財政調整基金残高の 標準財政規模に対する率	16.5%	13.8%	13.7%	15.4%	16.6%	18.1%	16.5%
公共施設整備基金残高	13.0億円	15.5億円	20.5億円	23.1億円	25.2億円	29.1億円	25億円

## III 経常収支比率の維持

目標未達成

経常的な収入に対し、経常的な支出がどの程度あるかを示す経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標です。

本計画では、平成28年度の決算値を維持することとし、目標値を93.5%以下としていました。

結果は、令和3年度において後年度の負担を軽減させるために臨時財政対策債を約6.3億円発行抑制したため、94.8%となり目標達成には至りませんでした。(仮に、臨時財政対策債を全額発行していた場合、経常収支比率は90.3%となりました。)

	(参考)	各年度末実績					計画目標値等
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
経常収支比率	93.5%	94.0%	95.1%	96.9%	95.4%	94.8%	93.5%
(参考)							
全国平均	92.5%	92.8%	93.0%	93.6%	93.1%	-	-
類似団体平均	93.8%	94.0%	93.7%	93.9%	93.5%	-	-
府平均	98.2%	97.5%	96.9%	95.7%	95.7%	-	-

※ 令和3年度の全国平均、類似団体平均、府平均については国が集計中のため「-」表示にしています。

#### IV 実質公債費比率の堅持

### 目標達成

一般会計等が負担する市債の元利償還金及び、準元利償還金の標準財政規模に対する比率である実質公債費比率は、借入金の返済額及びこれに準ずる額の程度を示す指標で、資金繰りの危険度を示します。

本計画では、平成28年度決算（過去3ヵ年平均の実質公債費比率6.8%）から下回ることをめざし6.6%の目標値を設定していました。

結果は、市債発行の抑制や既発債の償還終了などの要因により、5.5%となり目標を達成することができました。

	(参考)	各年度末実績					計画目標値等
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
<b>実質公債費比率</b>	6.8%	6.1%	5.6%	5.6%	5.8%	5.5%	6.6%
(参考)							
全国平均	6.9%	6.4%	6.1%	5.8%	5.7%	-	-
類似団体平均	6.9%	6.6%	6.4%	6.3%	6.2%	-	-
府平均	6.1%	5.0%	4.1%	3.6%	3.4%	-	-

※ 令和3年度の全国平均、類似団体平均、府平均については国が集計中のため「-」表示しています。

#### (2) 取り組みによる効果額

第2次四條畷市行財政改革プランの各取り組みのうち、効果額が算出可能なものについて算出を行いました。

下表のとおり、5年間の取り組みの結果、8億円を超える効果が出ました。

単位(千円)

取組項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市税の徴収率向上	28,432	63,455	99,437	63,924	132,921
国民健康保険料の徴収率向上	7,722	40,613	66,444	84,387	91,743
保育所保育料等の徴収率向上	-1,426	2,396	10,547	2,274	2,204
幼稚園保育料の滞納額縮減	80	40	122	46	
ふれあい教室利用料徴収率向上	-817	-1,726	441	1,573	2,241
一般ごみにかかる処理手数料の徴収		4,311	5,482	6,071	6,127
クレジット納付の導入による業務効率化		33	30	32	21
口座振替済通知書の廃止		596	667	669	669
水洗化の促進による公衆衛生の向上			267	213	116
がん検診自己負担金の見直し			1,281	2,515	2,687
電力、ガス調達の入札実施		10,510	25,224	29,432	33,249
年度合計	33,991	120,228	209,942	191,136	271,978
効果額総合計			827,275		

## 4. まとめ

---

平成 20 年度以降の実質収支の黒字維持や、令和 2 年度から 3 年連続で財政調整基金に依存しない当初予算編成を実現するなど、これまでの行財政改革の取り組みにより、本市の財政構造は改善している状況です。

今後は、これまでの取り組みについて各部課で継続することで健全な財政構造を維持しつつ、削減を主体とする取り組みから、将来への投資も行える財政運営へと移行していきます。

本年度策定の四條畷市中期財政計画の中期的な財政見通しのもと、市民ニーズを的確に捉え、継続的、安定的により良い行政サービスを提供していくため、これからも取り組みを進めてまいります。

---

## 資 料

---

○ 用語の解説.....	8
○ 行革プラン進捗管理チェックシート	
方針1に関する取り組み.....	9
方針2に関する取り組み.....	33
方針3に関する取り組み.....	44

## ○用語の解説

語句	説明
公債費	地方公共団体が借り入れた借金の元利償還金や一時借入金の利子の合計。
実質収支	歳入と歳出の差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源（継続費通次繰越や繰越明許費繰越額など）を除いた額。
財政再建団体	赤字額が、標準財政規模の20%を超え、国の管理下での運営を余儀なくされた市町村のこと。企業の倒産に例えられる。平成21年度に根拠法が変わり、現在は「財政再生団体」と呼ばれている。
実質収支比率	実質収支を標準財政規模で割ったもの。
標準財政規模	標準的な状態で通常収入されると見込まれる地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもので、全国一律の算出方法に基づき、市税、譲与税、交付金、普通交付税の合計額等により算出するもの。
第6次四條畷市総合計画	平成27年度に策定された本市の将来に繋ぐまちづくりの展望を据え、進むべき方向性を示す計画。基本構想の計画年度は平成28年度から平成62年度までの35年間。
財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金。
公共施設整備基金	公用又は公共用に供する施設の整備資金に充てるために設けられる基金。
類似団体	総務省の設定する類型基準により、全国の市町村を、人口及び産業構造等により35のグループに分類したもの。
経常収支比率	人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減税補てん債および臨時財政対策債の合計額に占める割合。
臨時財政対策債	国の地方交付税の財源が不足した場合に、市が不足する一般財源に対処するために発行する地方債。
実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金が標準財政規模に占める割合。市債返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、比率が大きいほど返済の資金繰りが厳しいことを示す指標。
市債（地方債）	市（地方自治体）が借り入れた長期の借金。

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針1	①・1		項目	市税の徴収率向上				
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度			
実施内容	※2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※実施前は、2018年度のシートをご覧下さい。 徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。 ※2016年度徴収率：96.5% 現年度 99.0% 滞納繰越分 33.8%	目標	徴収率目標 96.9%	徴収率目標 97.3%	徴収率目標 現年度分：99.3% 滞納繰越分37.4%	徴収率目標 現年度分：99.4% 滞納繰越分：4.8%	徴収率目標 現年度分：99.5% 滞納繰越分39.8%			
		目標効果額	滞納繰越分0.4%の額	滞納繰越分0.8%の額	滞納繰越分0.3%の額 現年度分：0.3% 滞納繰越分3.6%	滞納繰越分0.4%の額 現年度分：0.4% 滞納繰越分：4.8%	滞納繰越分0.5%の額 現年度分：0.5% 滞納繰越分：6.0%			
所管課	税務課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価時期	四半期ごと	
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標	① 納付方法の拡大及び検討(クレジット納付)	計画	クレジット納付導入検討	クレジット納付導入	クレジット納付導入	クレジット納付導入	クレジット納付導入	クレジット納付導入	
	徴収率目標 96.9%	② 口座振替推進(口座登録キャンペーン)	計画	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	
	滞納繰越分 0.4%の額	③ 個人住民税の特別徴収一斉指定(指定予告の通知)	計画	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	
	滞納繰越分 0.4%の額	④ 徴収事務の共同処理(大阪府域地方税徴収機継続参加)	計画	徴収事務の共同処理	徴収事務の共同処理	徴収事務の共同処理	徴収事務の共同処理	徴収事務の共同処理	徴収事務の共同処理	
	滞納繰越分 0.4%の額	⑤ コールセンター、投函業務員の改革	計画	コールセンター、投函業務員の改革	コールセンター、投函業務員の改革	コールセンター、投函業務員の改革	コールセンター、投函業務員の改革	コールセンター、投函業務員の改革	コールセンター、投函業務員の改革	
	進捗評価	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	コメント	コメント	12/12	3	3	3	3	3	3	
	振り返り	振り返り	平成29年度の目標徴収率どおりの96.9%を達成した。今後とも徴収率向上の努力を進めていきたい。							
	目標達成率	目標達成率	目標達成(徴収率96.9%)							
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標	① 納付方法の拡大及び検討(クレジット納付実施、ペイジー等導入検討)	計画	クレジット納付導入	クレジット納付導入	クレジット納付導入	クレジット納付導入	クレジット納付導入	クレジット納付導入	
	徴収率目標 97.3%	② 口座振替推進(口座登録キャンペーン)	計画	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	
	滞納繰越分 0.8%の額	③ 個人住民税の特別徴収一斉指定	計画	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	個人住民税の特別徴収一斉指定	
	滞納繰越分 0.8%の額	④ 共同処理の実施(機構活用)	計画	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	
	滞納繰越分 0.8%の額	⑤ 現年徴収率向上の取組み強化	計画	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	
	進捗評価	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	2
	コメント	コメント	11/12	3	3	3	3	3	2	
	振り返り	振り返り	引き続き推進すること							
	目標達成率	目標達成率	目標達成(徴収率97.4%)							
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標	① 納付方法の拡大及び検討(電子収納の検討)	計画	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	
	徴収率目標 99.3% 滞納繰越分37.4%	② 口座振替推進(口座登録キャンペーン)	計画	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	
	滞納繰越分 0.3% 滞納繰越分3.6%	③ 共同処理の実施(機構活用)	計画	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	
	滞納繰越分 0.3% 滞納繰越分3.6%	④ 現年徴収率向上の取組み強化(コールセンター全庁化検討)	計画	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	現年徴収率向上の取組み強化	
	滞納繰越分 0.3% 滞納繰越分3.6%	⑤	計画							
	進捗評価	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	コメント	コメント	12/12	3	3	3	3	3	3	
	振り返り	振り返り	引き続き推進すること							
	目標達成率	目標達成率	目標達成(現年度分99.3%、滞納繰越分38.5%) ※全体97.9% コールセンター全庁化検討は一部実施したこと、別項目でも包含して検討しているため取組み終了。							
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標	① 納付方法の拡大及び検討(電子収納の検討)	計画	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	
	徴収率目標 99.4% 滞納繰越分38.6%	② 口座振替推進(口座登録キャンペーン)	計画	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	
	滞納繰越分 0.4% 滞納繰越分4.8%	③ 共同処理の実施(機構活用)	計画	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	
	滞納繰越分 0.4% 滞納繰越分4.8%	④ 分納納付書(再発行納付書)共通化検討	計画	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	
	滞納繰越分 0.4% 滞納繰越分4.8%	⑤	計画							
	進捗評価	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	コメント	コメント	12/12	3	3	3	3	3	3	
	振り返り	振り返り	引き続き推進すること							
	目標達成率	目標達成率	目標未達成(現年度分98.6%、滞納繰越分36.4%) ※全体97.4% 電子収納については、拡大傾向にあるが、手数料がコンビニ収納と同額であることから費用面と社会情勢のバランスが難しい。口座登録キャンペーンについては、効果が大いとは考えづらく、検証不能のため終了。							
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標	① 納付方法の拡大及び検討(電子収納の検討)	計画	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	電子収納の検討	
	徴収率目標 99.5% 滞納繰越分39.8%	② 口座振替推進(口座登録キャンペーン)	計画	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	口座振替推進	
	滞納繰越分 0.5% 滞納繰越分6.0%	③ 共同処理の実施(機構活用)	計画	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	共同処理の実施	
	滞納繰越分 0.5% 滞納繰越分6.0%	④ 分納納付書(再発行納付書)共通化検討	計画	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	
	滞納繰越分 0.5% 滞納繰越分6.0%	⑤	計画							
	進捗評価	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	コメント	コメント	12/12	3	3	3	3	3	3	
	振り返り	振り返り	引き続き推進すること							
	目標達成率	目標達成率	目標達成(現年度分99.5%、滞納繰越分55.4%) ※全体98.4% スマホ決済サービスについては、大阪府内や北河内各市において導入が進んでいることから、毎年稼働が確認されているコンビニ手数料の予算範囲内で納付方法の拡大を図るため、令和4年度からスマホ決済サービスを実施するための契約を行った。							

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度	
実施内容 2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご参照下さい。  徴収率の向上と滞納額の削減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。  ※2016年度徴収率：76.9% 現年度 91.8% 滞納繰越分 26.8%	目標	徴収率目標	77.2%	徴収率目標 79.2%	徴収率目標 現年度分 92.2% 滞納繰越分30.4%	徴収率目標 現年度分 92.3% 滞納繰越分31.6%	徴収率目標 現年度分 92.4% 滞納繰越分32.8%	
	目標効果額	滞納繰越分	0.3%の額	2.3%の額	調定額×下記の率の額 現年度分：0.4% 滞納繰越分：3.6%	調定額×下記の率の額 現年度分：0.5% 滞納繰越分：4.8%	調定額×下記の率の額 現年度分：0.6% 滞納繰越分：6.0%	
	所管課	保険年金課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	健康福祉部長	評価者	副市長 評価周期 四半期ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	①	計画	策定	策定	随時実施	随時実施	
	徴収率目標 77.2%	②	実績	策定	随時実施	随時実施	随時実施	
	滞納繰越分	③	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施
	滞納繰越分	④	実績	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	①	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施	
	徴収率目標 79.2%	②	実績	予告送付	引継	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
	滞納繰越分	③	計画	計画策定	面談	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
	滞納繰越分	④	実績	計画策定	面談	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	①	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施	
	徴収率目標 現年度分 92.2% 滞納繰越分30.4%	②	実績	予告送付	引継	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
	滞納繰越分	③	計画	計画策定	面談	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
	滞納繰越分	④	実績	計画策定	面談	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	①	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施	
	徴収率目標 現年度分 92.2% 滞納繰越分31.6%	②	実績	予告送付	引継	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
	滞納繰越分	③	計画	調査研究	事業案策定	事業案策定	事業案策定	
	滞納繰越分	④	実績	調査研究	事業案策定	事業案策定	事業案策定	
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	①	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公允実施	随時滞納整理の実施、公允実施	
	徴収率目標 現年度分 92.4% 滞納繰越分32.8%	②	実績	予告送付	引継	滞納整理の実施	滞納整理の実施	
	滞納繰越分	③	計画	分納納付書の発注	テスト実施	実施に向けた予算要求	実施に向けた予算要求	
	滞納繰越分	④	実績	関係課協議、様式検討、統一納付書初版印刷	2回目校正うらち銀行納付書テスト依頼	帳票校正内容の精査・地方税統一QRコードとの関連調査	庁内調整	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度
実施内容	2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご覧下さい。 徴収率の向上と滞納額の削減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。 ※2016年度徴収率 75.8% 現年度 96.5% 滞納繰越分 6.0%	目標	徴収率目標 77.0%	徴収率目標 78.0%	徴収率目標 現年度分 97.7% 滞納繰越分20.5%	徴収率目標 現年度分 98.1% 滞納繰越分24.9%	徴収率目標 現年度分 98.5% 滞納繰越分30.3%
		目標効果額	・徴収率向上のための対応策を随時実施				
所管課	子ども政策課及び徴収対策課	区分	B課を越えた取組み	実施責任者	子ども未来部長	評価者	副市長
調整		調整	調整額1.2%の額	調整額2.2%の額	調整額×下記の額の現年度分：1.2% 滞納繰越分：14.5%	調整額×下記の額の現年度分：1.6% 滞納繰越分：18.9%	調整額×下記の額の現年度分：2.0% 滞納繰越分：24.3%
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)
	今年度の目標	① 共通事案における滞納整理	計画	計画策定			
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)
	今年度の目標	① コンビニ収納の導入	計画	システム改修	契約・調整テスト・広報	導入	効果検証
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)
	今年度の目標	① 現年徴収率向上の取組み強化	計画	計画策定	コール実施～	投資実施～	研修実施
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)
	今年度の目標	① ペイジー口座振替受付サービスの導入	計画	契約	業者準備	導入	実績等の状況確認
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)
	今年度の目標	① ペイジー口座振替受付サービスの推進	計画	案内送付		案内送付	案内送付

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針1	①・4	項目	幼稚園保育料の滞納額の削減								
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度						
実施内容	2016年度末の滞納額から滞納額を30%削減する。 (※2016年度末滞納額：53万円)	目標	目標残額 48万円	目標残額 43万円	目標残額 41万円	目標残額 39万円	目標残額 37万円						
		目標効果額	50千円	50千円	20千円	20千円	20千円						
		所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)				
平成29(2017)年度	今年度の目標 目標残額 48万円 ・徴収率向上のための対応策を随時実施 目標効果額 50千円 実績効果額 80千円 年間評価点 12 /12	年間実施項目 ① ② ③ ④ ⑤	分納分の確実な徴収	計画	状況確認								
			実績	状況確認									
			納付勧奨	計画							納付勧奨		
			実績							納付勧奨			
			進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3		
			コメント	目標達成(残額45万円)、分納分の納付が確実されるよう努めた。 次年度以降も引き続き、分納分の確実な徴収を行うとともに、分納に応じない者については、適切な対応をすること。									
			実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
			平成30(2018)年度	今年度の目標 目標残額 43万円 ・徴収率向上のための対応策を随時実施 目標効果額 50千円 実績効果額 40千円 進捗評価点 11 /12	年間実施項目 ① ② ③ ④ ⑤	分納分の確実な徴収	計画	状況確認					
						実績	状況確認	状況確認	状況確認	報告書送付	納付相談	状況確認	
						納付勧奨	計画	納付勧奨					納付勧奨
実績							報告書送付	納付相談					
進捗評価	ほぼ計画通り	2				計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3		
コメント	私債権の知識醸成後、速やかに納付勧奨を行うこと 下半期に納付勧奨と債権の精査を確実にすること 弁護士と連携して債権の精査及び納付勧奨を確実にすること 次年度は徴収事務に注力すること												
実施内容と振り返り		月				第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
令和元(2019)年度	今年度の目標 目標残額 41万円 ・徴収率向上のための対応策を随時実施 目標効果額 20千円 実績効果額 122千円 進捗評価点 11 /12	年間実施項目 ① ② ③ ④ ⑤				分納分の確実な徴収	計画	状況確認					
						実績	状況確認	状況確認	状況確認	報告	支払督促	状況確認	
						納付勧奨	計画		報告	支払督促			報告
			実績		報告	支払督促	見送り		報告	納付相談・分納誓約			
			進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3		
			コメント	予定通り進捗 概ね予定通り進捗 予定通り進捗 予定通り進捗									
			実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
			令和2(2020)年度	今年度の目標 目標残額 39万円 ・徴収率向上のための対応策を随時実施 目標効果額 20千円 実績効果額 46千円 進捗評価点 12 /12	年間実施項目 ① ② ③ ④ ⑤	分納分の確実な徴収	計画	状況確認					
						実績	状況確認	状況確認	状況確認	報告	納付相談・分納誓約	支払督促	状況確認
						納付勧奨	計画	納付相談(7月報告予定)	納付相談・報告	支払い督促	納付相談	支払督促取下げ	報告
実績													
進捗評価	計画通り	3				計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3		
コメント	予定通りの進捗 予定通りの進捗 予定通りの進捗 予定通りの進捗												

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針1	①・5	項目	ふれあい教室利用料の徴収率向上					
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度			
実施内容	2019年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、2018年度のシートをご覧ください。	目標	徴収率目標 90.0%	徴収率目標 90.2%	徴収率目標 現年度分 98.2% 滞納繰越分15.0%	徴収率目標 現年度分 98.5% 滞納繰越分22.0%	徴収率目標 現年度分 98.6% 滞納繰越分25.0%			
	徴収率の向上と滞納額の削減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。	目標	・徴収率向上のための対応策を随時実施							
実施内容	※平成2016年度徴収率：89.0% 現年度 96.8% 滞納繰越分 8.5%	目標効果額	調定額の1.0%の額	調定額の1.2%の額	調定額×下記の率の額 現年度分：1.4% 滞納繰越分：6.5%	調定額×下記の率の額 現年：1.7% 滞納：13.5%	調定額×下記の率の額 現年：1.8% 滞納：16.5%			
		所管課	青少年育成課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	青少年育成課長	評価者	行革担当部長	評価周期
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
平成29(2017)年度	今年度の目標 徴収率目標 90.0%	年間実施項目 ・徴収率向上のための対応策を随時実施	① 納付勧奨	計画					過年度分催告	
	② 督促状の訪問交付 分納相談		計画						督促状の訪問交付	
③ 利用料口座振替申請	計画								口座振替申請	
④	計画								口座振替申請	
⑤	計画									
目標効果額	実績効果額									
調定額の1.0%の額	-817千円									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標未達成(徴収率86.8%) 督促状の訪問交付などを行ったが、徴収率向上には繋がらなかった。次年度は、より効果的な徴収対策に取り組みたい。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	0 / 3	コメント	滞納者については、次年度の利用申込み時に精算を求めると、利用者間で不公平が生じないように留意してください。							
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
平成30(2018)年度	今年度の目標 徴収率目標 90.2%	年間実施項目 ・徴収率向上のための対応策を随時実施	① 納付勧奨	計画					過年度分催告	
	② 督促状の訪問交付 分納相談		計画						督促状の訪問交付	
③ 利用料口座振替の勧奨	計画								口座振替	
④ 電話対応(納付催促)	計画								納付催促	
⑤	計画									
目標効果額	実績効果額									
調定額の1.2%の額	-1,726千円									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標未達成(徴収率84.3%) 徴収対策の助言のもと、催告書の文面精査、回数増により、これまで応答がなかった滞納者からの完済、分納相談があり、過年度分については効果があったが、全体では下がったため、次年度は改正した条例を生かし、徴収率を向上させたい。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り	3
10 / 12	0 / 3	コメント	上半期中に計画策定と体制作りを行い、督促状の訪問交付、電話対応等を実施すること							
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
令和元(2019)年度	今年度の目標 徴収率目標 98.2% 滞納繰越分15.0%	年間実施項目 ・徴収率向上のための対応策を随時実施	① 納付勧奨	計画					記録郵便・滞納者利用不可の旨掲示	
	② 督促状の訪問交付 分納相談		計画						規則改正	
③ 利用料口座振替の勧奨	計画								口座振替	
④ 電話対応(納付催促) (入室に係る納付催促)	計画								電話対応	
⑤	計画									
目標効果額	実績効果額									
調定額×下記の率の額 現年：1.4% 滞納：6.5%	441千円									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標未達成(現年度分97.5%(未達成) 滞納繰越分28.6%(達成)) ※全体90.1% 督促や催告の支那を工夫したこともあるが、職員が自信を持って滞納者へ対応できるようになってきたと感じている。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	1 / 3	コメント	目標効果額達成に向けて取り組むこと							
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
令和2(2020)年度	今年度の目標 徴収率目標 98.5% 滞納繰越分22.0%	年間実施項目 ・徴収率向上のための対応策を随時実施	① 納付勧奨	計画					催告	
	② 督促状は指導員が保護者へ直接交付		計画						記録郵便・滞納者利用不可の旨掲示	
③ コールセンターの活用	計画								コールセンター	
④ 口座振替の勧奨及び振替未納者への事前声掛け	計画								コールセンター	
⑤ 未納にならないための周知啓発	計画									
目標効果額	実績効果額									
調定額×下記の率の額 現年：1.7% 滞納：13.5%	1,573千円									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標未達成(現年99.6%(達成) 滞納19.4%) ※全体92.9% 現年度の徴収率が上がるほど、滞納は真に支払い困難と思われる世帯が増加し収入が伸びづらく、コロナ禍により訪問での納付勧奨がなくなったため、滞納繰越分が未達成となる見込み	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3	計画通り	3
10 / 12	2 / 3	コメント	コロナ禍でもあるが、状況に応じて未実施項目を実施していくこと							
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
令和3(2021)年度	今年度の目標 徴収率目標 98.6% 滞納繰越分25.0%	年間実施項目 ・徴収率向上のための対応策を随時実施	① 納付勧奨	計画					催告	
	② 督促状は指導員が保護者へ直接交付		計画						記録郵便・滞納者利用不可の旨掲示	
③ コールセンターの活用	計画								コールセンター	
④ 口座振替の勧奨及び振替未納者への事前声掛け	計画								コールセンター	
⑤ 支払い督促	計画									
目標効果額	実績効果額									
調定額×下記の率の額 現年：1.8% 滞納：16.5%	2,241千円									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標未達成(現年99.5%(達成) 滞納7.1%(未達成)) ※全体94.1% 現年度の徴収率が高位期調の反面、滞納は真に支払い困難と思われる世帯が増加し収入が難しい状況。しかし、支払い督促は着手できたことで、滞納者との交渉に繋がった事例があった。	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
8 / 12	1 / 3	コメント	様々な要因から滞りに遅れが生じていますが、第2四半期でリカバーすること							

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針1	①・6	項目	債権一元化による業務効率化					
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度			
実施内容	各所管課の債権（公債権・私債権）の徴収一元化を検討する。	目標	・研修による職員の徴収能力の向上 ・債権回収検討会議の実施		・債権回収条例の制定 ・関係各課との調整		・調整が整い次第実施			
		目標効果額	検討後に設定		-		-			
所管課	徴収対策課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
平成29(2017)年度	今年度の目標 ・研修による職員の徴収能力の向上 ・債権回収検討会議の実施	年間実施項目	① 債権回収にかかる研修の実施	計画					研修実施	
			② 債権回収検討会議の開催	計画				債権回収検討会議の開催	未実施	
			③	計画				検討会議開催		
			④	計画						
			⑤	計画						
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	コメント	振り返り	機構改革検討で公債権の一元化に重点を置いたので、私債権までの検討には至らなかった。他市事例を参考に、全庁的に引き続き取り組んでいく。				
	7 / 9	-	6 / 9							
平成30(2018)年度	今年度の目標 ・研修による職員の徴収能力の向上 ・債権回収検討会議の実施	年間実施項目	① 府税0Bによる市全体研修の実施	計画	計画策定		決定次第調整し、研修実施	アンケートの実施と集計		
			② 取り扱うべき債権額の調査（庁内調査）	計画	庁内調査		庁内調査	集計実施・研修参加		
			③ 債権回収検討会議の実施	計画	会議実施		会議実施	会議実施		
			④ 方向性の確認	計画				方向性確認		
			⑤ 条例案素案策定	計画				任用弁護士との協議		
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	コメント	振り返り	災害による本来業務の遅れを取り戻すためどうしても集中的に取り組みできなかった。他債権への取り組みについては、配置弁護士と相談しながら進めていく				
	7 / 12	-	7 / 12							
令和元(2019)年度	今年度の目標 ・債権回収条例の制定 ・関係各課との調整	年間実施項目	① 市全体研修の実施（その他の研修利用による周知、参加要請）	計画		計画策定	研修実施			
			② 各債権担当課へのOJT実施	計画		適宜実施				
			③ 債権回収検討会議の実施	計画		会議実施				
			④ 条例制定可否の決定	計画		可否の決定				
			⑤	計画						
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	コメント	振り返り	債権一元化検討について債権回収検討会議、研修等を含め、債権保有課は賦課するだけでは徴収部門に移管することはできないことを伝え理解を得た。				
	8 / 9	-	8 / 9							
令和2(2020)年度	今年度の目標 ・債権回収条例の制定 ・関係各課との調整	年間実施項目	① 条例策定	計画	条例(素案)策定	条例(案)策定	議会上程			
			② 債権回収検討会議の実施	計画	会議実施	会議実施	策定	上程、可決		
			③	計画						
			④	計画						
			⑤	計画						
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	コメント	振り返り	債権回収検討会議を経て、債権管理条例を制定したことに加え、完成した債権回収整理マニュアルを活用し、必要に応じて徴収対策課が相談に応じながら、まずは最終的な強制執行等も視野にいれ、より適切な賦課、徴収を債権保有課で今後徹底していくこととしたため取組終了とする。				
	7 / 9	-	7 / 9							

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針1	①・7	項目	債権徴収の委託							
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	債権回収業務の民間委託による徴収業務の効率化を検討する。	目標	・研修による職員の徴収 ・債権回収検討会議の開催	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討	・費用対効果が見込める場合は、準備が整った次第実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-	-	-		
所管課	徴収対策課及びその他所管課	区分	B	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
平成29(2017)年度	今年度の目標	①	任期付府税OBの任用	計画	継続任用							
	・他市の状況調査	年間実施項目	②	他市状況調査	計画	継続任用						
			実績	他市状況調査								
			③	コールセンター、投函業務員の改革あり方改善	計画	計画	他市調査	検討	予算要求			
			実績	計画	他市視察	機構改革実施により継続検討						
	目標効果額	実績効果額	④		計画							
	-	-	⑤		計画							
	年間評価点	コメント	振り返り	債権回収業務の民間委託についてはほとんど取り組んでいない。H30年度以降に取組みを行っていくものとした。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3		
	12 /12		コメント		進捗評価	平成30年度から、弁護士の採用を予定していることから、弁護士と協議のうえ検討を進められた。						
	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
平成30(2018)年度	今年度の目標	①	他市調査の開始・集約	計画	他市調査		集約					
	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討	年間実施項目	②	委託業務の内容検討	計画	担当設定	情報収集	委託内容検討				
			実績			他市調査			集約			
			③	費用対効果検討	計画			任用弁護士との協議				
			実績			未実施						
	目標効果額	実績効果額	④	業務委託素案策定	計画			素案策定作業				
	-	-	⑤	実施スケジュール案策定	計画			実施スケジュール案策定				
	検討後に設定	-	進捗評価	災害による本来業務の遅れを取り戻すためどうしても、集中的に取り組みできなかった。他債権への取り組みについては、任用弁護士と相談しながら進める	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	計画通りに進んでいない	1
	5 /12	-	コメント		予定通り進捗	他市調査、集約を実施し、委託内容の検討を行うこと		弁護士の雇用を踏まえた費用対効果の検討を早急に行うこと		弁護士と協議をしながら委託対象業務の選定をすすめること		
	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
令和元(2019)年度	今年度の目標	①	他市調査の集約結果に基づく委託内容の検討	計画	委託内容検討							
	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討	年間実施項目	②	費用対効果検証	計画	課内検討		見積徴収				
			実績			費用対効果検証						
			③	委託実施可否の判断	計画			コールセンター検討 費用算出				
			実績			実施可否の判断						
	目標効果額	実績効果額	④		計画	コールセンター否	他検討中	課内検討				
	-	-	⑤		計画							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	市税等以外でもふれあい教室の利用料に関しコール実施するなど新たな取組を行った。委託の実施に向けては、既に直営でコール、投函業務を実施しており、委託しても費用対効果は見込みづらい。次年度は自力執行権のない債権対策として訴訟、強制執行による部分の委託を検討する。	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	-	
	6 /9	-	コメント		予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗		コールセンター以外の部分についての検討を継続すること				
	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
令和2(2020)年度	今年度の目標	①	費用対効果、委託内容の検討	計画	委託内容検討		費用対効果検証					
	・費用対効果が見込める場合は、準備が整った次第実施	年間実施項目	②	委託実施可否の判断、必要に応じた実施準備	計画	内容検討		調査中				
			実績			実施可否の判断						
			③		計画			必要に応じて予算要求等、実施に向けた準備				
			実績			未判断			検討	必要なしと判断		
	目標効果額	実績効果額	④		計画							
	-	-	⑤		計画							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	債権回収検討会議を経て、債権管理条例を制定したことに加え、完成した債権回収整理マニュアルを活用して現状の債権保有課で対応することとした。委託については、今後各課で強制執行等も視野により適切に徴収業務を行っていくことになるため、どの程度の手間、効果が見込めるかは相当期間の実績確認が必要であり、現状委託の費用対効果算出ができないため、取組終了とする。	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り	3
	6 /9	-	コメント		予定通りの進捗	実施検討可否判断に向けて必要な課題を解消していくこと		現状では費用対効果の算定は困難であり、委託にそぐわない		現状では費用対効果の算定は困難であり、委託にそぐわない		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針1	①・8	項目	保育料の口座振替推進による業務効率化						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	<b>口座振替納付の推進による、徴収業務の効率化を図る。</b> ・規則改正の検討 ・口座振替納付の勧奨	目標	70.0%	72.0%	77.0%	81.0%	85.0%				
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる							・原則口座振替での納付依頼を実施	
所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み		実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと	
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目 ① 口座振替納付の勧奨 ② ③ ④ ⑤	計画	通知			通知				
	70.0%		実績	通知			通知				
	・規則改正の検討 ・口座振替納付の勧奨		計画								
			実績								
	目標効果額		実績効果額	計画							
	徴収率の向上に含まれる	-	実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	-	-		
6 / 6	3 / 3	目標達成(平成29年度3月分の口座登録率74.1%)保育料決定通知と併せて口座振替納付の推奨を行い若干ではあるが、口座振替納付の率が上昇した。	コメント	他の方策についても多角的に検討を続けること							
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目 ① 口座振替納付の勧奨 ② 規則改正の実施 ③ 保護者への通知 ④ ⑤	計画	通知送付			通知送付				
	72.0%		実績	通知送付			通知送付				
	・口座振替納付の勧奨 ・規則改正の実施 ・保護者への通知		計画					規則改正			
			実績					規則改正			
	目標効果額		実績効果額	計画							
	徴収率の向上に含まれる	-	実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3		
12 / 12	3 / 3	目標達成(平成30年度3月末の口座登録率75.77%)規則改正を行い、原則口座振替としたことから、今後の実績を見つつ周知に努めていく。	コメント	現在の口座登録率73.7%から上昇させること		予定通り進捗		予定通り進捗		口座振替登録数を確実に上昇させること	
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目 ① 口座振替納付の勧奨 ② 口座振替申込みに係る利便性向上策の検討 ③ ④ ⑤	計画	通知送付			通知送付				
	77.0%		実績	通知送付			通知送付				
	・原則口座振替での納付依頼を実施		計画	利便性向上策の抽出及び検討		予算要求	導入準備				
			実績	利便性向上策の抽出及び検討	利便性向上策の抽出及び検討	予算要求	導入準備				
	目標効果額		実績効果額	計画							
	徴収率の向上に含まれる	-	実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3		
12 / 12	3 / 3	目標達成(77.72%)口座振替納付を推進するため、利便性向上策を検討した。	コメント	予定通り進捗		予定通り進捗		予定通り進捗			
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目 ① 口座振替納付の勧奨 ② ペイジー口座振替受付サービスの導入 ③ ④ ⑤	計画	通知送付			通知送付				
	81.0%		実績	通知送付			通知送付				
	・原則口座振替での納付依頼を実施		計画	契約	業者準備	導入	実績等の状況確認				
			実績	契約	業者準備	導入	実績等の状況確認				
	目標効果額		実績効果額	計画							
	徴収率の向上に含まれる	-	実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3		
12 / 12	3 / 3	令和3年1月31日現在目標達成(85.8%)ペイジー口座振替受付サービスを導入し、口座振替を登録しやすい環境を整えた。	コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗			
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目 ① 口座振替納付の勧奨 ② ペイジー口座振替受付サービスの推進 ③ ④ ⑤	計画	通知送付			通知送付				
	85.0%		実績	通知送付			通知送付				
	・原則口座振替での納付依頼を実施		計画	案内送付			案内送付				
			実績	案内送付			案内送付				
	目標効果額		実績効果額	計画							
	徴収率の向上に含まれる	-	実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	-	計画通り		
9 / 9	3 / 3	令和4年3月31日現在目標達成(87.5%)ペイジー口座振替受付サービスや口座振替についてHPでも周知を行い、口座振替の登録が増加した。	コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗 令和4年度以降も取り組みを継続すること			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針1 ①・9 項目 クレジット納付の導入による業務効率化

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	目標	・庁内及び関係機関との調整 ・対象税目(市税)の確定		・実施(市税)	・検証(市税)	・庁内調整及び関係機関との調整 ・導入に向け対象を確定	・実施		
	目標効果額		徴収率の向上に含まれる						
所管課	税務課及びその他所管課	区分	B	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 庁内及び関係機関との調整 ② 対象税目(市税)の確定	計画	導入に向けた検討	導入スケジュールの調整	予算要求	契約準備		
	実績		導入に向けた検討	導入スケジュールの調整	予算要求	契約準備			
	計画				対象税目の確定				
	実績				対象税目の確定				
	計画								
	目標効果額	実績効果額							
	徴収率の向上に含まれる	-							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
	12 / 12	-	目標達成。	コメント	予定通りの進捗となっている。30年度については、市民の皆様への十分な周知に努められたい。				
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 周知(当初課税・普通徴収) ② 実施(当初課税・普通徴収) ③ 検証(随時発送分の納税通知書) ④ 庁内調整(他課実施分)	計画	広報 納税通知書で周知					
	実績		広報 納税通知書で周知						
	計画		契約 納税通知書に実施						
	実績		契約 納税通知書に実施						
	計画			検証		検証のまとめ			
	目標効果額	実績効果額							
	徴収率の向上に含まれる	33千円							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
	12 / 12	-	他課への導入については、公金収納代行サービスの事情により次年度は見送りとなった	コメント	予定通りの進捗	他課への導入を見据えて、税の効果検証を行うこと	引き続き、他課への導入を見据えて、税の効果検証を行うこと	取組みは今年度で終了し、効果検証のみ引き続き行うこと。	
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 市税として効果検証	計画	効果検証			検証のまとめ		
	実績		検証			検証結果			
	計画								
	実績								
	計画								
	目標効果額	実績効果額							
	徴収率の向上に含まれる	30千円							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
	12 / 12	-	一定の検証は行ったが、他課への導入については、現在の公金収納代行サービスが終了となったため、次年度以降別業者との交渉を開始する。	コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	
令和2(2020)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 関係機関と調整 ② 庁内調整(他課実施分) ③ 納付方法の拡大及び検討(電子収納の検討)	計画	バンダー替の調整		予算要求			
	実績		バンダー替の調整	バンダー替の調整	移行調整及び予算要求	移行調整及び予算措置			
	計画			庁内調整(他課実施分)					
	実績			保険年金と協議	保険年金と協議	保険年金と協議	保険年金と協議		
	計画			電子収納の検討					
	目標効果額	実績効果額							
	徴収率の向上に含まれる	32千円							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
	12 / 12	-	現在の公金収納サービスが終了する令和3年度末以降スムーズな移行のため、バンダー替の調整中であり、合わせて国保料、滞納分でも利用できるよう到来年度以降も調整していく。また、年間実施項目②については、方針1①でも取り組んでいるため本項目からは削除。	コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 関係機関と調整 ② 庁内調整(他課実施分)	計画	バンダー移行調整	バンダー移行調整	バンダー移行調整	バンダー移行調整		
	実績		TKCとの協議	TKCとの協議	R4年度継続実施のためのバンダー替えの準備契約終了	令和4年4月1日付の契約締結及び指定納付受託者の指定の準備			
	計画		庁内調整(他課実施分)	庁内調整(他課実施分)	R4に向け予算要求	R4実施に向け準備			
	実績		保険年金課と調整済	終了					
	計画								
	目標効果額	実績効果額							
	徴収率の向上に含まれる	21千円							
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
	12 / 12	-	ヤフーによるクレジット決済サービスが令和3年度で終了することから、収納チャネルを狭らさないために新たなバンダーとして、システム会社のTKC及びクレジット決済サービス会社のエフレンジと契約締結した。	コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗 令和4年度以降も既存の会議を活用して検討を続けること	予定通りの進捗 (再掲) 令和4年度以降も既存の会議を活用して検討を続けること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針1	①・10	項目	電子収納の拡充による業務効率化				
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度		
実施内容	ページ等の導入による利便性の向上と徴収業務の効率化を検討する。	目標	・費用対効果等の検討 ・共通納税システムの動向把握		・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施				
	目標効果額	徴収率の向上に含まれる							
所管課	税務課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
	今年度の目標	①	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握				
	年間実施項目 ・費用対効果等の検討 ・共通納税システムの動向把握	②	費用対効果等の検討	計画	国等の通知や説明会で動向の把握				
		③	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整		庁内、関係機関と調整
		④	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
		⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
	目標効果額	実績効果額	⑤	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握			
	徴収率の向上に含まれる	-	⑤	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握		国等の動向により必要となった時点から検討	
	進捗評価点	目標評価点	⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整	
	6 / 6	-	振り返り	電子収納について検討、予算要求を行ったが、費用対効果等の観点から導入に至らず。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3
コメント		振り返り	目標達成 単独事業でのページ導入は多額の費用が見込まれるため、eLTAを利用した共通納税システムの動向を注視した。	コメント	引き続き、eLTAを利用した共通納税システムの動向の把握に努められたい。				
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
	今年度の目標	①	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握				
	年間実施項目 ・費用対効果等の検討 ・共通納税システムの動向把握	②	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握				
		③	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整		庁内、関係機関と調整
		④	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
		⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
	目標効果額	実績効果額	⑤	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握			
	徴収率の向上に含まれる	-	⑤	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握		国等の動向により必要となった時点から検討	
	進捗評価点	目標評価点	⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整	
	11 / 12	-	振り返り	共通納税システムの動向を注視しつつ別の電子収納について検討を行う	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通り	3
コメント		振り返り	当初出席予定であった説明会不参加のため	コメント	予定通りの進捗 引き続き電子収納について研究すること 具体化に向けた検討をすること				
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
	今年度の目標	①	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握				
	年間実施項目 ・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施	②	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握				
		③	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整		庁内、関係機関と調整
		④	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
		⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
	目標効果額	実績効果額	⑤	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握			
	徴収率の向上に含まれる	-	⑤	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握		国等の動向により必要となった時点から検討	
	進捗評価点	目標評価点	⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整	
	12 / 12	-	振り返り	電子収納については、拡大傾向にあるが、手数料がコンビニ収納と同額であることから費用面と社会情勢のバランスが難しい。共通納税システムについては令和5年度以後課税分について、以降対象税目の拡大が発表された。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3
コメント		振り返り	令和5年度から始まる共通納税システムの稼働に向け、国の地方税電子申告システムと本市税務情報システムとの連携を構築するための委託料を令和4年度当初予算に計上した。 ③スマホ決済サービスについては、大阪府内や北河内各市において導入が進んでいることから、毎年経費が増額しているコンビニ手数料の予算範囲内で納付方法の拡大を図るため、令和4年度からスマホ決済サービスを実施するための契約を行った。	コメント	予定通りの進捗 電子納付手数料の利用者負担について再検討すること (法律上の可否・ポイントの対象外とすることなど) また、口座振替勧奨の取り組みも行うこと				
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
	今年度の目標	①	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握				
	年間実施項目 ・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施	②	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握				
		③	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整		庁内、関係機関と調整
		④	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
		⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
	目標効果額	実績効果額	⑤	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握			
	徴収率の向上に含まれる	-	⑤	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握		国等の動向により必要となった時点から検討	
	進捗評価点	目標評価点	⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整	
	12 / 12	-	振り返り	電子収納については、拡大傾向にあるが、手数料がコンビニ収納と同額であることから費用面と社会情勢のバランスが難しい。共通納税システムについては令和5年度以後課税分について、以降対象税目の拡大が発表された。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3
コメント		振り返り	令和5年度から始まる共通納税システムの稼働に向け、国の地方税電子申告システムと本市税務情報システムとの連携を構築するための委託料を令和4年度当初予算に計上した。 ③スマホ決済サービスについては、大阪府内や北河内各市において導入が進んでいることから、毎年経費が増額しているコンビニ手数料の予算範囲内で納付方法の拡大を図るため、令和4年度からスマホ決済サービスを実施するための契約を行った。	コメント	予定通りの進捗 電子納付手数料の利用者負担について再検討すること (法律上の可否・ポイントの対象外とすることなど) また、口座振替勧奨の取り組みも行うこと				
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
	今年度の目標	①	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握				
	年間実施項目 ・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施	②	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握				
		③	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整		庁内、関係機関と調整
		④	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
		⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		事業者と情報共有		庁内、関係機関と調整
	目標効果額	実績効果額	⑤	共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握			
	徴収率の向上に含まれる	-	⑤	費用対効果等の検討	計画	国等の通知による動向把握		国等の動向により必要となった時点から検討	
	進捗評価点	目標評価点	⑤	電子収納の導入検討	計画	課内検討		業者と導入に向けた調整	
	12 / 12	-	振り返り	電子収納については、拡大傾向にあるが、手数料がコンビニ収納と同額であることから費用面と社会情勢のバランスが難しい。共通納税システムについては令和5年度以後課税分について、以降対象税目の拡大が発表された。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3
コメント		振り返り	令和5年度から始まる共通納税システムの稼働に向け、国の地方税電子申告システムと本市税務情報システムとの連携を構築するための委託料を令和4年度当初予算に計上した。 ③スマホ決済サービスについては、大阪府内や北河内各市において導入が進んでいることから、毎年経費が増額しているコンビニ手数料の予算範囲内で納付方法の拡大を図るため、令和4年度からスマホ決済サービスを実施するための契約を行った。	コメント	予定通りの進捗 電子納付手数料の利用者負担について再検討すること (法律上の可否・ポイントの対象外とすることなど) また、口座振替勧奨の取り組みも行うこと				

※1: 目標評価点: 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
実施内容	手続き等で必要となるものを除き、口座振替済通知書の送付を原則廃止し、コスト削減と業務効率化を図る。	目標	・市民への周知等の実施	・実施	2018年度で取組み完了					
		目標効果額	-	513千円				-	-	-
所管課	税務課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと	
今年度の実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
2017年度	今年度の目標		年間実施項目	① 他市調査及び影響調査	計画				実施	
				② 平成29年度分通知で翌年度から廃止を周知(個人住民税・固定資産税)	計画				H29の通知で周知	
				③	計画				H29の通知で周知	
				④	計画					
				⑤	計画					
	目標効果額	実績効果額								
	-	-								
年間評価点	コメント	振返り	進捗評価	計画通り	計画通り	計画通り	3	計画通り	3	
6 / 6		目標達成。	コメント					市民向け周知に怠りの無いようにされたい		
今年度の実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
2018年度	今年度の目標		年間実施項目	① 納税通知書による周知(個人住民税:6月・固定資産税及び軽自動車税:5月)	計画	周知				
				② 実施(個人住民税及び固定資産税:12月・軽自動車税:6月)	計画	実施			実施	
				③	計画				実施	
				④	計画					
				⑤	計画					
	目標効果額	実績効果額								
	513千円	596千円								
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	
6 / 6	3 / 3	目標達成。	コメント	予定通りの進捗				予定通りの進捗今年度で取組み終了		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針1	①・12	項目	水洗化の促進による公衆衛生の向上							
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	【旧項目】「し尿処理(浄化槽汚泥)手数料の徴収」が完了したため、2019年度から項目及び実施内容を変更しました。 ※変更前の実施内容は、2018年度のシートをご参照ください。	目標	【旧項目】「し尿処理(浄化槽汚泥)手数料の徴収」での実施目標		未接続世帯数 377件	未接続世帯数 362件	未接続世帯数 347件					
	下水道使用料負担の公平性の確保を図るため、下水道処理区域内での水洗化を促進する。 (※2018年度末 未接続世帯387件)	・他市事例の研究	・有料化についての検討		・未接続家屋等への啓発		・状況が整い次第、下水道法第38条第1項に基づく措置命令の検討、実施					
	目標効果額	-	検討後に設定		120千円	240千円	360千円					
所管課	下水道課	区分	C	各課の取組み	実施責任者	下水道課長	評価者	行革担当部長	評価周期			
									四半期ごと			
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
	今年度の目標	年間実施項目	①	他市事例調査(聞き取り調査)	計画		調査					
			②		計画		調査					
			③		実績							
			④		計画							
			⑤		実績							
	目標効果額	実績効果額										
	-	-										
	年間評価点	コメント	振り返り	北河内では、枚方市、寝屋川市が実施済であることを把握した。		計画通り	3					
	3/3											
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
	今年度の目標	年間実施項目	①	条例改正等	計画	素案(案)の作成	庁内検討・素案作成	予算要求・条例案策定	上程			
			②		計画		素案(案)作成	予算要求・条例案上程	業者・住民説明会			
			③		実績							
			④		計画							
			⑤		実績							
	目標効果額	実績効果額										
	検討後に設定	-										
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	計画通り、浄化槽汚泥の有料化を実施できた。次年度以降は下水道課に取組みを引き継ぎたい。	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
	9/12	-		コメント	素案(案)未作成のため	素案にできるような手続きをすすめること	周知及び住民説明を着実にすること	予定通りの進捗				
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
	今年度の目標	年間実施項目	①	未接続世帯の把握	計画	未接続世帯の抽出(上半期での目標値設定)、現地確認						
			②	他市事例の研究	計画	世帯数把握	台帳情報等との突き合わせ					
			③	未接続世帯へのアンケート及び啓発	計画	他市事例の収集、未接続時の対応など						
			④	下水道接続指導要綱の検討、制定	計画	先進市3市に照会を実施	アンケート(案)作成	アンケート及び啓発	アンケートの結果分析			
			⑤		実績		アンケート(案)作成	アンケート及び啓発	結果分析			
	目標効果額	実績効果額										
	120千円	267千円										
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	(未接続世帯数370件)未接続世帯を訪問し、アンケートの配布、回収と下水道への接続をお願いした。本年度は、17件下水道への接続をしていただけた。	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12/12	3/3		コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗				
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
	今年度の目標	年間実施項目	①	下水道接続指導制度に係る運用基準について庁内組織での検討	計画	立ち上げ	基準決定					
			②	下水道接続指導制度に係る運用基準の決定	計画	運用基準の検討	内部調整					
			③	未接続世帯等への下水道接続指導制度の周知	計画	検討	検討	内部調整	制度周知			
			④		計画				HPにて制度周知	個別通知		
			⑤		実績							
	目標効果額	実績効果額										
	240千円	213千円										
	年間評価点	目標評価点	振り返り	本制度に関する内容をHPに掲載し周知するとともに、未接続世帯には個別勧奨通知を送付した。本年度は13件下水道への接続をしていただけた。(未接続世帯数 357件)	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
	10/12	3/3		コメント	適切な運用基準を作成していくこと	概ね予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗				
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
	今年度の目標	年間実施項目	①	未接続世帯等への下水道接続指導制度の個別周知	計画	制度個別周知						
			②	法に基づく措置命令等の検討、実施	計画	個別相談、協議	個別相談、協議	個別相談	個別周知に向けた準備	個別周知に向けた準備	通知書発送	
			③		計画							
			④		計画							
			⑤		実績							
	目標効果額	実績効果額										
	360千円	116千円										
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	本制度に関する内容をHPに掲載し周知するとともに、未接続世帯には個別勧奨通知を送付した。本年度は6件下水道への接続をしていただけた。(未接続世帯数 351件)	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
	4/12	1/3		コメント	陥没事故の影響等で、計画通りに進んでいないが、事態收拾後には取り組みを実施すること	法に基づく措置命令等についても検討を進めること	個別周知を実施し、個々に対応を行うこと	個別通知への反響に対して、指導を行うこと	また、令和4年度以降も取り組みを継続すること			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート				方針1	②・1	項目	使用料、手数料、負担金の見直し									
5年間の実施項目及び内容				年度	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度			
実施内容	※2018年度の目標を2019年度まで継続し、見直し後の料金適用年度を2020年10月からに延期しました。				目標	・近隣市の動向把握		・庁内検討 ・見直し案の決定		【実施を2019年度から2020年度に延期】		【実施を2019年度から2020年度に延期】				
	消費税率の改定に併せて全庁的に受益者負担金等の見直しを検討する。					目標効果額	-		検討後に設定		-		-		-	
	所管課					区分	A 全庁的取組み		実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
今年度の実施内容と振り返り				月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)					
2017年度	今年度の目標				年間実施項目	① 近隣市の動向把握		計画							動向把握	
						実績									動向把握	
						②	計画									
						実績										
						③	計画									
						実績										
	目標効果額 実績効果額					④	計画									
- -				⑤	実績											
年間評価点 コメント				振り返り	目標達成 具体的な内容については、平成30年4月に開催される河北事務担当者会議で詳細把握を行う。	進捗評価	-		-		-		計画通り	3		
3 / 3						コメント							法改正の動向を注視すること。			
今年度の実施内容と振り返り				月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)					
2018年度	今年度の目標				年間実施項目	① 庁内検討会の開催		計画	開催	開催	開催	開催	開催			
						実績	開催		開催	開催						
						② コスト計算の実施	計画			計算						
						実績			計算		再計算					
						③ 関係団体等との調整	計画				団体との調整					
						実績				未実施						
	目標効果額 実績効果額					④ 新料金見直し案の仮決定と決定	計画			仮決定			決定			
検討後に設定 -				⑤ 予算案と条例改正案の上程	計画			未実施			未実施					
7 / 12				振り返り	当初は消費税率の引き上げ時期に合わせて改定を行う予定とされていたが、手数料に関する法改正の可能性ができたことから、令和2年度実施に変更する。	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1		
				コメント	新料金見直し案の仮決定を早急に行い、令和元年度10月の改定に向けて、着実に推進すること							国の動向に留意しつつ、令和2年度実施に向けて準備を行うこと				
今年度の実施内容と振り返り				月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)					
2019年度	今年度の目標				年間実施項目	① コスト計算取りまとめ		計画	集計							
						実績		集計								
						② 庁内検討会の開催	計画		開催							
						実績		未実施		庁内会議	2回開催	2回開催	2回開催			
						③ 新料金見直し案の仮決定と決定	計画		仮決定		決定					
						実績		未実施		未実施	手数料維持	使用料維持				
	目標効果額 実績効果額					④ 関係団体等との調整	計画			団体との調整						
- -				⑤ 予算案と条例改正案の上程	計画			未実施								
4 / 12				振り返り	手数料使用料ともに、検討を重ね、消費税を契機とした見直しについては実施しないと決定したため、取り組み終了。	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1		
				コメント	下半期に料金見直し決定を行い、団体への周知に着手すること							庁内検討を重ね、見直ししないことに決定				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
実施内容	適正な受益者負担について検討する。	目標	・他市の状況調査	・課題抽出 ・大東市との調整	・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討						
		目標効果額	-	検討後に設定	1,510千円	-	-				
		所管課	保健センター	C 各課の取組み	実施責任者 保健センター所長	評価者	行革担当部長	評価周期 四半期ごと			
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2017年度	今年度の目標	年間実施項目 ・他市の状況調査	① 大阪府のがん検診に関する調査結果から他市の状況を把握	計画	大阪府の調査	調査結果確認					
	②		計画	大阪府の調査	調査結果確認						
	③		計画								
	④		計画								
	⑤		計画								
	目標効果額	実績効果額									
	-	-									
年間評価点	コメント	振り返り	大阪府の調査を利用することで、府内他市の状況確認をした。	計画通り	3	計画通り	3	-	-		
6 / 6											
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2018年度	今年度の目標	年間実施項目 ・課題抽出 ・大東市との調整	① 大阪府の調査結果をもとに他市の状況把握及び課題の抽出	計画	大阪府の調査	調査結果確認、課題抽出	課題抽出				
	②		計画	H29の大阪府調査の結果確認(課題抽出は未実施)	課題整理、改定案策定及び予算要求						
	③		計画	料金改定による受診率への影響を分析	経年の受診率等の分析	課題抽出					
	④		計画	大東市との調整会議		会議					
	⑤		計画			未実施	効果的な検診と適正な受益者負担について検討	自己負担額変更の決定	会議		
	目標効果額	実績効果額									
	検討後に設定	-									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	近隣市の状況から、検診費用の概ね2割を自己負担とする変更案を策定した。あわせて対象者、検査方法の見直しなども行い、がん検診の適正化を図った。	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3	計画通り	3
10 / 12	-										
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2019年度	今年度の目標	年間実施項目 ・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討	① 自己負担額改定	計画	契約医療機関へ周知	広報誌等による周知	改定				
	②		実績	追加の庁内合意	周知予定	広報誌等	改定				
	③		計画	議会への説明	全員協議会						
	④		計画	医師会への周知		周知					
	⑤		計画			周知					
	目標効果額	実績効果額									
	1,510千円	1,005千円									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	がん検診等の自己負担額について、2割の定率化及び免除基準の見直しを実施し、がん検診の適正化を図ったため、取組終了とする。	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	-	
9 / 9	1 / 3										

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
実施内容	適正な受益者負担について検討する。	目標	・他市の状況調査	・課題抽出 ・大東市との調整	・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討			
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	
		所管課	保健センター	C 各課の取組み	実施責任者 保健センター所長	評価者	行革担当部長	評価周期 四半期ごと
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
2017年度	今年度の目標	年間実施項目 ・他市の状況調査	① 予防接種5市会議（会議の中で他市状況を把握）	計画		会議		会議
	実績			会議		会議		
	②		計画					
	実績							
	③		計画					
	実績							
	④	計画						
実績								
目標効果額	実績効果額							
-	-							
年間評価点	コメント	振り返り	近隣市との会議の場を利用して、他市の状況を確認した。		3		3	
6/6							引き続き情報共有を行うこと。	
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
2018年度	今年度の目標	年間実施項目 ・課題抽出 ・大東市との調整	① 予防接種5市会議（会議の中で他市状況の把握と課題抽出）	計画		会議		会議
	実績			実施		実施		
	②		計画		会議		会議	
	実績			未実施		実施方法時期検討		
	③		計画				庁内合意	
	実績							
	④	計画						
実績								
目標効果額	実績効果額							
検討後に設定	-							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	次年度10月の改定で庁内合意を得ることができた。今後は実施に向けた準備を着実に進めていきたい。		1	1	3	
5/12	-			出来るだけ早く大東市との調整を行うこと	令和元年度に着実に進展できるよう課題抽出、研究を進めること	次年度10月のがん検診自己負担額見直しと同時に実施できるよう準備を進めること		
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
2019年度	今年度の目標	年間実施項目 ・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討	① 自己負担額の改定	計画	実施決定	広報誌等による周知	改定	
	実績			免除基準見直しの庁内合意	広報誌等	改定		
	② 議会への説明		計画	全員協議会				
	実績		説明					
	③ 医師会への周知		計画	周知				
	実績	周知	他市周知					
	④	計画						
実績								
目標効果額	実績効果額							
-	-							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	予防接種の自己負担免除基準について、がん検診等に含ませて見直しを実施し、適正化を図った。検討の結果、自己負担率については、がん検診等の負担率と既に同率であるため、改正しないこととし、取組終了とする。	計画通り	3	3	3	
9/9	-			予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	-	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度					
実施内容	一般家庭ごみに係る処理手数料について検討する。	目標	・他市の状況調査	・粗大ごみ一部有料化に伴う減量効果についての検証	・有料化についての課題抽出 ・近隣市の状況把握	・検証結果等をもとに、一般ごみ有料化についての方向性を検討						
		目標効果額	-	-	-	-	-					
所管課	生活環境課	区分	C 各課の取組み		実施責任者	生活環境課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標			①	調査							
	・他市の状況調査	年間実施項目	①	他市の状況調査(聞き取り調査)	計画							
			実績									
	②		計画									
	③		計画									
	④		計画									
⑤		計画										
目標効果額	実績効果額											
-	-											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	北河内各市では、一般化系ごみの有料化実施団体は無く、近隣では、生駒市が実施していたことを把握した。	進捗評価コメント	-	-	計画通り	3	-			
3 / 3							近隣市との情報交換を密に行うこと。					
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標			①	調査							
	・粗大ごみ一部有料化に伴う減量効果についての検証	年間実施項目	①	他市の意向調査(聞き取り調査)	計画							
			実績									
	②	粗大ごみ有料化に伴う減量効果の検証	計画									
	③		計画									
	④		計画									
⑤		計画										
目標効果額	実績効果額											
-	4,311千円											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	粗大ごみ有料化によるごみの減量効果があったので、次年度は一般家庭ごみ有料化を実施している他市の状況を研究したい。	進捗評価コメント	-	-	計画通り	3	計画通り	3		
6 / 6	-						予定通りの進捗		予定通りの進捗			
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標			①	課題整理及び抽出							
	・有料化についての課題抽出 ・近隣市の状況把握	年間実施項目	①	有料化についての課題抽出	計画							
			実績									
	②	大阪府内の先行事例を調査	計画		調査対象市の選定	視察	視察	視察	調査結果のとりまとめ			
	③		計画		選定実施		10月予定	視察	1月予定	視察	とりまとめ	
	④		計画									
⑤		計画										
目標効果額	実績効果額											
-	5,482千円											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	次年度は、ごみの減量目標の達成状況を見極めながら、他市の事例を参考に、本市にふさわしい有料化の在り方を検討したい。	進捗評価コメント	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り	3
9 / 12	-				予定通りの進捗		課題整理及び抽出を行うこと		1月の視察後、調査結果をとりまとめること		予定通りの進捗	
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標			①	課題整理及び抽出							
	・検証結果等をもとに、一般ごみ有料化についての方向性を検討	年間実施項目	①	課題の整理と抽出	計画							
			実績									
	②	有料化の在り方検討	計画									
	③		計画									
	④		計画									
⑤		計画										
目標効果額	実績効果額											
-	6,071千円											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	ごみの有料化実施済の他市視察結果等を基により深く有料化の在り方を検討したが、次年度以降、一般ごみより、まず粗大ごみ完全有料化の検討を実施したい。	進捗評価コメント	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	-				予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗	
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標			①	粗大ごみの完全有料化に向けた課題整理							
	・検証結果等をもとに、一般ごみ有料化についての方向性を検討(第3次ごみ処理基本計画に沿って令和7年度までに有料化の在り方を検討)	年間実施項目	①	一般家庭ごみ有料化在り方検討の中で、まず粗大ごみの完全有料化に向けた課題整理	計画							
			実績		近隣市の情報収集	情報収集に基づく課題整理	情報収集に基づく課題整理と解決策の抽出	課題整理と解決策の抽出				
	②		計画									
	③		計画									
	④		計画									
⑤		計画										
目標効果額	実績効果額											
-	6,127千円											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	ごみの有料化実施に向け、粗大ごみ完全有料化を関係機関と調整し課題の解決を行いたい。	進捗評価コメント	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	-				予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗 令和4年度以降も検討を進めること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

方針1	②・5	項目	し尿処理（浄化槽汚泥）手数料の徴収
-----	-----	----	-------------------

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
実施内容	公共下水道整備区域内の浄化槽汚泥について、下水道への切り替え促進を図る観点から、有料化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・有料化についての検討	<b>本項目は30年度で完了</b> 【2019年度以降は「水洗化の促進（下水道課・区分C）」を実施】				
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-
所管課	生活環境課及び下水道課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	市民生活部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと

今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2017年度	今年度の目標	① 他市事例調査（聞き取り調査）	計画		調査					
	・他市事例の研究	年間実施項目	②	計画		調査				
			③	実績						
			④	計画						
			⑤	実績						
			⑥	計画						
目標効果額	実績効果額									
-	-									
年間評価点	コメント	振り返り	進捗評価	コメント						
3 / 3		北河内では、枚方市、寝屋川市が実施済であることを把握した。	—	計画通り	3	—				
今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標		① 条例改正等	計画	素案(案)の作成	庁内検討・素案作成	予算要求・条例案策定	上程			
2018年度	・有料化についての検討	年間実施項目	②	実績	素案(案)作成	予算要求・条例案上程	業者・住民説明会			
			③	計画						
			④	実績						
			⑤	計画						
			⑥	実績						
目標効果額	実績効果額									
検討後に設定	-									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	コメント						
9 / 12		計画通り、浄化槽汚泥の有料化を実施できた。次年度以降は下水道課に取組みを引き継ぎたい。	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
			素案(案)未作成のため		素案にできるよう手続きをすすめること		周知及び住民説明を着実にすること		予定通りの進捗	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度	
実施内容	市役所の駐車場等、使用料を徴収していない施設の有料化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・有料化を検討すべき施設の抽出	・抽出した施設の費用対効果の検討	・費用対効果が見込める施設については、準備が整い次第実施			
		目標効果額	-	-	-	-	-	-	
所管課	施設再編室及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 他市事例の研究(聞き取り調査)	計画					調査	
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 他市事例の研究	計画	他市事例の調査					
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 費用対効果の検証	計画	費用対効果の検証					
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 費用対効果の検証	計画	費用対効果の検証					
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 費用対効果の検証	計画	状況確認					

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度	
実施内容	<b>新たな税外収入及び既存収入増加策について検討する。</b>	目標	・他市事例の研究 ・本市で実施可能な項目を抽出	・費用対効果の検討 ・関係機関調整	・準備が整い次第実施				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	財政課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	① 他市事例の研究	計画				研究	
	・他市事例の研究 ・本市で実施可能な項目を抽出		② 研修参加	計画			研修	研究	
			③ 実施可能項目を抽出	計画			研修		
			④	計画				抽出	
			⑤	計画				未実施	
目標効果額	実績効果額	計画							
-	-	実績							
年間評価点	コメント	振り返り	進捗評価	1	1	3	2		
5/6		全国研修会に参加するなどして、先進事例の研究は行ったが、実施可能項目の抽出にはいたらなかった。	コメント	新しい方策について更なる研究を続けること。					
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	① 実施可能項目の抽出及び精査	計画	項目精査				
	・費用対効果の検討 ・関係機関調整		② 費用対効果の検討	計画		効果検証			
			③ 関係機関調整	計画		未実施			
			④ 規程の整備	計画			庁内調整		
			⑤	計画			未実施		
目標効果額	実績効果額	計画							
検討後に設定	-	実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	1	1	0	0		
2/12	-	税外収入について、項目の抽出は行ったが、精査ができていない。次年度は、実施可能項目を見定め、具体化に向けて取り組みたい。	コメント	まずは、実施可能項目の精査を行うこと 実施可能項目の精査を早急に行い巻き返しを図ること。					
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	① 実施可能項目の精査	計画	項目精査				
	・準備が整い次第実施		② 実施可能項目にかかる他市事例の調査	計画		他市事例の研究			
			③ 関係機関調整	計画		未実施			
			④ 規程の整備	計画			関係機関及び庁内調整		
			⑤	計画			予算編成の中で検討		
目標効果額	実績効果額	計画							
-	-	実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	1	1	1	1		
4/12	-	他市に聞き取るも特に参考となる情報は都市計画税課税区域の見直しは別項目で進捗管理。ふるさと納税の取り組みは別で進捗管理。	コメント	他市事例調査等を通じて、実施可能項目を精査していくこと 引き続き検討を続けること					
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	① 実施可能項目の精査	計画	項目精査				
	・準備が整い次第実施		② 実施可能項目にかかる他市事例の調査	計画		他市事例の研究			
			③ 関係機関調整	計画		調査中			
			④ 規程の整備	計画			関係機関及び庁内調整		
			⑤	計画			調査結果による課内での情報共有		
目標効果額	実績効果額	計画							
-	-	実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	1	2	1	1		
5/12	-	他市事例の調査及び課内での課題整理は完了したが、庁内調整(実施する事業課との調整)までは至っていない。引き続き次年度継続していく。	コメント	コロナ禍でもあり遅れが生じているが、近隣市のみならず、今年度の調査結果について次年度以降庁内調整をすすめること 幅広く事例調査等を実施していくこと					
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	① 実施可能項目の調査	計画	項目精査				
	・準備が整い次第実施		② 実施可能項目にかかる他市事例の調査	計画		他市事例の研究			
			③ 関係機関調整	計画		実施			
			④ 規程の整備	計画			関係機関及び庁内調整		
			⑤	計画			未実施		
目標効果額	実績効果額	計画							
-	-	実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	1	1	0	0		
2/12	-	他市事例の調査を行ったものの、関係機関との調整は実施できなかった。調査内容も踏まえて、収入拡充の検討を進めていく。	コメント	調査研究した内容の実施に向けて、関係機関及び庁内調整を進めること 調査研究した内容について、検討・調整を進めること					

●進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針1	④・1	項目	特定目的基金の整理と再編								
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度						
実施内容	社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに即した活用を図るため、特定目的基金の整理、再編について検討する。	目標	・他市事例の研究	・庁内検討 ・対象基金の関係者等との調整	・条例改正等を実施	・整理、再編の実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
所管課	財政課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと				
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
平成29(2017)年度	今年度の目標 ・他市事例の研究	年間実施項目	① 他市事例の研究	計画					研究				
			実績					研究					
			②	計画									
			実績										
			③	計画									
	実績												
目標効果額	実績効果額												
進捗評価	目標評価	振り返り	目標達成 府内市町村における各種基金設置状況を確認した。	進捗評価 コメント	-	-	-	計画通り	3				
3/3								十分な将来予測を行ったうえ進めること					
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
平成30(2018)年度	今年度の目標 ・庁内検討 ・対象基金の関係者等との調整	年間実施項目	① 他市事例の分析	計画	他市事例の分析								
			実績										
			② 今後の基金の在り方を検討	計画	他市事例の分析	課題整理	庁内検討						
			実績			未実施	未実施						
			③ 関係者等との調整	計画				関係者との調整					
	実績					未実施							
目標効果額	実績効果額												
進捗評価	目標評価	振り返り	早急に実施し、巻き返しを図りたい。	進捗評価 コメント	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	未着手	0	
4/12	-								次年度に巻き返しを図ること。				
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
令和元(2019)年度	今年度の目標 ・条例改正等を実施	年間実施項目	① 今後の基金の在り方を検討	計画	課題整理	庁内検討							
			実績		他市照会	庁内会議	庁内会議	庁内会議2回					
			② 関係者等との調整	計画									
			実績			未実施		関係者ごとに調整					
			③ 条例(案)の策定	計画				条例案の策定					
	実績					条例案及び規則案策定							
目標効果額	実績効果額												
進捗評価	目標評価	振り返り	公共施設整備基金及び退職手当基金を除く特目基金について整理し、原則規則にて整備することとした。新設基金2つは議会へ上程済。	進捗評価 コメント	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3	計画通り	3	
9/12	-								まずは庁内で一定の結論を出すこと				予定通りの進捗
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
令和2(2020)年度	今年度の目標 ・整理、再編の実施	年間実施項目	① 【公共施設整備基金】 今後の基金の在り方を検討	計画	課題整理	庁内検討							
			実績		課題整理	課内検討							
			② 【退職手当基金】 今後の基金の在り方を検討	計画	課題整理	庁内検討							
			実績		課題整理	課内検討							
			③ 条例等(案)の策定	計画				条例及び規則(案)策定					
	実績					未着手							
目標効果額	実績効果額												
進捗評価	目標評価	振り返り	課内での検討はしたが、コロナ禍に伴う業務の優先順位の結果、次年度に対応することとした。	進捗評価 コメント	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	未着手	0	
4/12	-								コロナ禍でもあり遅れが生じているが、庁内調整等を経て条例 上程に向けて進めること				コロナ禍による影響もあったが、次年度に順次実施していくこと
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
令和3(2021)年度	今年度の目標 ・整理、再編の実施	年間実施項目	① 【公共施設整備基金】 今後の基金の在り方を検討	計画		庁内検討							
			実績			未実施							
			② 【退職手当基金】 今後の基金の在り方を検討	計画			庁内検討						
			実績				未実施						
			③ 条例等(案)の策定	計画				条例及び規則(案)策定					
	実績					未実施							
目標効果額	実績効果額												
進捗評価	目標評価	振り返り	中期財政計画の策定が遅れていることから、本年度は未着手となった。中期財政計画策定後、庁内検討等を進めていく。	進捗評価 コメント	-	未着手	0	未着手	0	未着手	0		
0/9	-								中期財政計画策定後、速やかに取り組みを進めること				(再掲) 中期財政計画策定後、速やかに取り組みを進めること

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

方針1	④・2	項目	基金運用方針の見直し
-----	-----	----	------------

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
実施内容	より効率的な基金の運用を図るため、基金運用方針の見直しを検討する。	目標	・他市事例の研究	・基金運用方針改定案の策定	2018年度で取組み完了 【2019年度以降は「新たな方針」に基づく運用を実施】				
		目標効果額	-	-				-	-
所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと

今年度の実施内容と振り返り				月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
2017年度	今年度の目標		年間実施項目 ・他市事例の研究	① 他市事例の研究	計画				研究
				②	実績				研究
				③	計画				
				④	実績				
				⑤	計画				
	目標効果額	実績効果額		計画					
	-	-		実績					
	年間評価点	コメント	振り返り	進捗評価	-	-	-	計画通り	3
	3 / 3		目標達成。近隣自治体等の方針を収集し、研究を行った。	コメント					引き続き他市の状況の確認を行われた。
	今年度の実施内容と振り返り				月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)
今年度の目標		年間実施項目 ・基金運用方針改定案の策定	① 庁内検討	計画	検討				
			② 改定案策定	実績	検討				
			③	計画	案策定		予算要求		
			④	実績	案策定		予算要求		
			⑤	計画					
目標効果額	実績効果額		実績						
-	-		計画						
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	-	計画通り	3	
6 / 6	-	目標達成。運用方針を改正し、相殺できる債務を超過する資金運用ができるよう定めた。(適用は31年4月1日から)	コメント	予定通り進捗			今後も、より効率的な運用について、研究を続けること		

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート			方針1	⑤	項目	給与制度のあり方に関する検討						
5年間の実施項目及び内容			年度 H29(2017)年度	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度					
実施内容	目標	・他市事例の研究	・他市事例の研究	・現業職のあり方の検討	・検討結果を踏まえた調整を行う。							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-	-			
所管課	人事室及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標			① 他市事例の研究	計画	他市事例の研究						
	年間実施項目	目標効果額	実績効果額	②	計画	技能労務職の職のあり方(方向性)検討						
				③	実績							
				④	計画							
				⑤	実績							
				⑤	計画							
	進捗評価	目標評価	振り返り	来年度も引き続き他市事例の研究及び来年度の目標を検討。	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
	4/12	-	コメント	技能労務職の現状を見据えつつ、職員組合と充分協議のうえ進めること。								
	実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標			① 技能労務職の職のあり方検討	計画	技能労務職の職のあり方検討							
年間実施項目	目標効果額	実績効果額	②	実績	全庁的な協力体制について会議を実施・組合と覚書締結							
			③	計画	未実施							
			④	計画	未実施							
			⑤	計画	未実施							
			⑤	実績	未実施							
進捗評価	目標評価	振り返り	技能労務職の退職者により職員数が減っている現状、業務の選別により今後の採用方針等を決定する。	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	
6/12	-	コメント	予定通り進捗 取組みを前進させること 取組みを前進させること 取組みを前進させること									
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標			① 技能労務職の職のあり方検討	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施		次年度以降の採用計画に反映					
年間実施項目	目標効果額	実績効果額	②	実績	申入れ		未実施					
			③	計画	未実施		未実施					
			④	計画	未実施		未実施					
			⑤	計画	未実施		未実施					
			⑤	実績	未実施		未実施					
進捗評価	目標評価	振り返り	今年度は、例年の給与改定に加え、会計年度任用職員制度の創設や休暇の見直しなど、職員団体との協議が多岐にわたったため、技能労務職のあり方については後手にまわってしまった。今後、協議を重ねていきたい。	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	
3/12	-	コメント	協議を実施すること まずは協議を実施すること 第1歩として庁内協議を実施すること 巻き返しを図ること									
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標			① 技能労務職の職のあり方検討	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施		庁内協議	組合協議	採用計画反映			
年間実施項目	目標効果額	実績効果額	②	実績	未実施		庁内協議		未実施			
			③	計画	未実施		未実施		未実施			
			④	計画	未実施		未実施		未実施			
			⑤	計画	未実施		未実施		未実施			
			⑤	実績	未実施		未実施		未実施			
進捗評価	目標評価	振り返り	他市の状況調査を行い、各団体において、直営・委託の状況を把握した。これを基に、業務のあり方について検討していきたい。	未着手	0	計画通り	3	計画通り	3	未着手	0	
6/12	-	コメント	コロナ禍でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること 予定通りの進捗 予定通りの進捗 組合協議等の課題はあるが、引き続き検討を続けること									
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標			① 技能労務職の職のあり方検討	計画	業務のあり方の検討		組合協議		次年度に向けた協議			
年間実施項目	目標効果額	実績効果額	②	計画	未実施		庁内協議		組合交渉			
			③	計画	未実施		未実施		未実施			
			④	計画	未実施		未実施		未実施			
			⑤	計画	未実施		未実施		未実施			
			⑤	実績	未実施		未実施		未実施			
進捗評価	目標評価	振り返り	技能労務職配属課の長を集め、今後の退職を見据えた対応について協議し、令和4年度予算でできる限り直営業務を業務委託に切り替える方向となった。今後も協議の機会を設け、対応を検討していきたい。	未着手	0	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	
9/12	-	コメント	他市事例等も参考に検討を進めると共に、組合協議への筋道を検討すること 予定通りの進捗(引き続き組合協議への筋道を検討すること) 予定通りの進捗 予定通りの進捗 令和4年度以降も引き続き検討を行うこと									

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
実施内容	新地方公会計制度において、現在実施中の期末一括仕分けから、より詳細かつ即応性のある日々仕訳の実施を検討する。	目標	・電算事業者との調整 ・課題抽出	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	・実施		
		目標効果額	-	-	-	-	-
所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 総務部長	評価者	副市長	評価周期 四半期ごと

2017年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標							
	・電算事業者との調整 ・課題抽出	年間実施項目	① 電算事業者との調整	計画			予算要求	調整
			実績			予算要求	調整	
			② 課題抽出	計画				抽出
			実績				抽出	
			③	計画				
	④	計画						
	⑤	計画						
	目標効果額	実績効果額						
-	-							
年間評価点	コメント	振り返り	目標達成 導入に向けたロードマップなどについて、システム会社と協議した。		進捗評価 計画通り	3	計画通り 3	
6 / 6			コメント 電算業者との調整を緊密に図り進めること。					

2018年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標							
	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	年間実施項目	① 電算事業者との調整	計画		調整		
			実績		調整			
			② システム契約	計画			契約	
			実績		依頼	契約		
			③ 処理マニュアル作成	計画		マニュアル作成		
	④	計画			マニュアル作成			
	⑤	計画						
	目標効果額	実績効果額						
-	-							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標達成 システム導入やマニュアルの作成など、次年度実施に向けた環境整備を行った。		進捗評価 計画通り	3	計画通り 3	
12 / 12	-		コメント 事業者との調整に、計画時の想定より時間を要する見込みのため早めに着手		時間に係る調整を前倒ししたことにより、計画的な進捗ができています	予定通り進捗	日々仕分けの実施を全職員に周知すること	

2019年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標							
	・実施	年間実施項目	① 日々仕分けの実施	計画	システムを活用した日々仕分けの実施			
			実績		実施	実施	実施	実施
			② 会計課との調整	計画	問題点の洗い出しやより円滑な運用に向けての協議調整			
			実績	運用の中で問題点抽出	運用の中で問題点抽出	運用の中で問題点抽出	運用の中で問題点抽出	
			③ 職員研修の実施	計画		研修		
	④	計画		未実施				
	⑤	計画						
	目標効果額	実績効果額						
-	-							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標達成 日々仕分を実施した。		進捗評価 計画通り	3	ほぼ計画通り 2	
11 / 12	-		コメント 予定通りの進捗		会計課との調整、研修実施に向けて巻き返すこと	予定通り進捗	予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針1	⑥・2	項目	新地方公会計制度に基づく事業別コスト計算の実施				
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度	R 4 (2022)年度	R 5 (2023)年度
実施内容	より効率的な事業実施の指標とするため、複式簿記を用いた事業別コスト計算書の作成を行う。	目標	・電算事業者との調整 ・課題抽出	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	・実施				
	目標効果額	-	-	-	-	-	-	-	-
所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 電算事業者との調整	計画 実績						調整
	年間実施項目 ・電算事業者との調整 ・課題抽出	② 課題抽出	計画 実績						抽出
		③	計画 実績						抽出
		④	計画 実績						
⑤		計画 実績							
目標効果額	実績効果額	-	-						
進捗評価点	目標評価点	3 / 3							
振り返り	目標達成システム会社との協議により、対応可能な内容について整理した。	コメント						計画通り	3 電算事業者との緊密な調整を図ること。
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 電算事業者との調整	計画 実績		調整				調整
	年間実施項目 ・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	② システム契約	計画 実績			契約			
		③ 処理マニュアル作成	計画 実績		依頼	契約 マニュアル作成			
		④ 新年度予算に向けたシステム調整(科目設定等)	計画 実績				システム調整		
⑤ 職員研修の実施		計画 実績				システム調整 研修		研修	
目標効果額	実績効果額	-	-						
進捗評価点	目標評価点	11 / 12							
振り返り	目標達成システム導入やマニュアルの作成など、次年度実施に向けた環境整備を行った。	コメント	事業者との調整に、計画時の想定より時間を要する見込みのため早めに着手	時間が係る調整を前倒ししたことにより、計画的な進捗ができています	年度内に研修を行うこと			事業別コスト計算の円滑な実施に向け、準備を着実に進めること	
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① システム稼働	計画 実績		実施	実施	実施	実施	
	年間実施項目 ・実施	② 事業別コスト計算による調査作成(モデル事業)	計画 実績			調査作成(上半期)			
		③ コスト計算書についての職員向け説明会	計画 実績			未実施			説明会 未実施
		④	計画 実績						
⑤		計画 実績							
目標効果額	実績効果額	-	-						
進捗評価点	目標評価点	8 / 12							
振り返り	システムの問題で、事業別コスト計算等の実施はできていない	コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	実施に向けて業者との交渉を継続すること	実施に向けて業者との交渉を継続すること			
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 事業別コスト計算による調査作成(モデル事業)	計画 実績			調査作成(上半期)			
	年間実施項目 ・実施	② コスト計算書についての職員向け説明会	計画 実績			業者との調整			説明会
		③	計画 実績						
		④	計画 実績						
⑤		計画 実績							
目標効果額	実績効果額	-	-						
進捗評価点	目標評価点	1 / 6							
振り返り	システムの問題等で、事業別コスト計算等の実施はできていない	コメント			業者との調整、前段となる財務書類の作成を進めること	業者との調整、前段となる財務書類の作成を進めること			
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 事業別コスト計算による調査作成(モデル事業)	計画 実績		元年度財務書類作成	2年度財務書類作成			モデル事業のコスト計算実施
	年間実施項目 ・実施	②	計画 実績		入札準備及び入札	R 1 財務書類完成予定	H30財務書類完成	R1作成中	R1財務書類セグメント完成予定
		③	計画 実績						
		④	計画 実績						
⑤		計画 実績							
目標効果額	実績効果額	-	-						
進捗評価点	目標評価点	6 / 12							
振り返り	計画では、令和2年度までの財務書類を完成させ、モデル事業のコスト計算を完了する予定であったが、支援委託業務の入札不調や、新型コロナウイルスに係るBCF発動による遅れなどにより、令和元年度までの財務書類の作成に止まった。そのため、セグメント分析は令和元年度の財務書類データを基にモデル的に実施した。今後は、最終目的である分析結果の予算反映に向けて、財務書類の作成及び分析作業が早期に完了するように進めていく。	コメント	入札不調で生じた遅れをリカバーできるように調整すること	引き継ぎ、入札不調で生じた遅れをリカバーできるように調整すること	遅れをリカバーするとともに、モデル事業のコスト計算を行うこと	最終目的である分析結果の予算反映に向けて、取り組みを推進すること			

○進捗評価点：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針2		①・1		項目		電子入札の導入						
5年間の実施項目及び内容			年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
実施内容	電子入札についての調査、研究及び試行を実施する。			目標	・市内現状把握	2018年度で取組み終了 【費用対効果が見合わないため】						
				目標効果額	-				-	-	-	
所管課	総務課			区分	C 各課の取組み	実施責任者	総務課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと	
2017年度	今年度の実施内容と振り返り				月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標				①	計画				現状把握		
	・市内現状把握				年間実施項目	②	計画				現状把握	
						実績					視察	
	目標効果額				実績効果額	③	計画					
						実績						
	年間評価点				コメント	④	計画					
						実績						
	振り返り				他市導入のシステムを視察し、運用方法を確認した。	⑤	計画					
						実績						
進捗評価						—	—	—	計画通り	3		
コメント										費用対効果を充分検証のうえ進めること。		
2018年度	今年度の実施内容と振り返り				月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標				①	計画	他市事例の研究					
	・他市事例の研究 ・予算措置 ・契約 ・電子入札システム業者決定				年間実施項目	②	計画	他市事例の研究				
						実績		業者への説明				
	目標効果額				実績効果額	③	計画					
						実績		未着手				
	進捗評価点				目標評価点	④	計画					
						実績			検討			
	振り返り				他市の状況と、本市の状況を照らし合わせて検討した結果、費用対効果が見合わない判断した。(現状入札件数が年間40件程度であるが、480件程になると費用対効果が見込まれる)	⑤	計画					
						実績			補正及び当初予算要求 予算要求見送り			
進捗評価					計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
コメント					予定通りの進捗		電子化推進の観点も併せた検討を行うこと		費用対効果の検証結果から取組継続か否か結論をだすこと。		電子入札の導入はしないものとして、取組みを終了する。	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針2	①・2	項目	入札方法選択基準の策定						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	入札の多様化に伴い、入札方法選択基準の策定を行う。	目標	・ 庁内現状把握 ・ 他市事例の研究	・ 選択基準の策定に係る庁内調整	・ 入札方法選択基準の策定						
		目標効果額	-	-	-	-	-				
所管課	総務課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目 ① 他市事例の研究 ② 総合評価落札方式に関する指針案の検討 ③ ④ ⑤	計画	他市事例の研究							
	実績		他市事例の研究								
	計画		指針案の検討				指針案の検討				
	実績		指針案の検討				指針案の検討				
	計画										
目標効果額	実績効果額	計画									
-	-	実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	-	コメント	先進市の総合評価落札方式の実施状況について確認した。 本年度検討した指針案について、できるだけ早期に庁内調整を行うこと。								
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目 ① プロポーザル指針の見直し ② 総合評価落札方式とプロポーザル方式の指針に係る庁内調整 ③ 選択基準の策定に係る庁内調整 ④ ⑤	計画	指針の見直し							
	実績		指針の見直し								
	計画		指針案の検討				指針に係る庁内調整				
	実績		指針案の検討				未実施				
	計画						策定に係る庁内調整				
目標効果額	実績効果額	計画									
-	-	実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	未着手	0
4 / 12	-	コメント	指針にかかる庁内調整を早急に行うこと 次年度に入札方法選択基準を策定できるよう巻き返しを図ること。								
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目 ① 随意契約ガイドラインの発出 ② 総合評価落札方式(工事・委託)指針の策定・発出 ③ 入札方法選択基準の策定 ④ ⑤	計画	ガイドラインの発出				契約研修実施 発出			
	実績		未実施								
	計画		総合評価落札方式の指針の策定・発出								
	実績		未実施								
	計画		入札方法選択基準の策定				入札方法選択基準の策定				
目標効果額	実績効果額	計画									
-	-	実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
4 / 12	-	コメント	③項目を先に実施した上で、①、②を実施するとのことではあるが、いずれにせよスケジュールに遅れが見られるため、着実に進めること 各種基準等の発出の前に、入札・契約制度に関する基礎的な研修を実施したこともあり、スケジュールに遅れが生じているが、来年度はスケジュールに沿って進めていくこと								
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目 ① 総合評価落札方式(工事・委託)指針の策定・発出 ② 入札方法選択基準の策定 ③ ④ ⑤	計画	指針検討				視察			
	実績		情報収集				課内たき台作成				
	計画		入札方法選択基準の策定				調査準備・視察				
	実績						資料収集				
	計画						素案策定				
目標効果額	実績効果額	計画									
-	-	実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	未着手	0
2 / 12	-	コメント	所要の要綱改正は行えたが、コロナ禍ということもあり、総合評価落札方式等の策定にまで至っていない。 コロナ禍でもあり遅れが生じているが、計画的に進めること コロナ禍でもあるが、昨年度より停滞しているため、計画的に進めること								
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目 ① 総合評価落札方式(工事・委託)指針の策定・発出 ② 入札方法選択基準の策定 ③ 入札に関連する要綱等の改正 ④ ⑤	計画	課内たき台検討				他市視察			
	実績		未実施				未実施				
	計画		入札方法選択基準の策定				素案策定				
	実績						素案策定				
	計画						未実施				
目標効果額	実績効果額	計画									
-	-	実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	計画通りに進んでいない	1
3 / 12	-	コメント	他市の状況等を参考に検討する中、本市にとって有用な制度かどうかを検討していたが、その後、入札における不祥事もあり、計画通りに進めることができなかった。入札制度等検討委員会の答申を踏まえ、取組みを進めていくこと 指針の策定については、担当者案作成済みの工費用指針の課内検討など、現時点で着手できる内容から、取り組みを進めること 入札制度等検証委員会の答申を受けて、今後取り組みを進めていくこと								

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針2	②	項目	包括管理委託の実施				
5年間の実施項目及び内容		年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度
実施内容	電気設備、消防設備、空調設備など、施設保守にかかる業務の包括委託化を検討する。	目標	・ 庁内現状把握 ・ 他市事例の研究	・ 実施に向けての庁内調整	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-	-
所管課	施設再編室	区分	C 各課の取組み	実施責任者	施設再編室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	他市事例の研究	計画 実績			他市事例の研究 他市事例の研究		
	・ 庁内現状把握 ・ 他市事例の研究	②	庁内現状把握	計画 実績				現状把握 現状把握	
		③		計画 実績					
	目標効果額	実績効果額	④						
	-	-	⑤						
	年間評価点	コメント	振り返り	進捗評価 コメント	-	-	計画通り	3	計画通り
6/6						本年度の事例研究、現状把握をもとに、次年度の庁内調整を円滑に進めること。			
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	一括委託対象業務の選定	計画 実績	対象業務の選定 対象業務の選定				
	・ 実施に向けての庁内調整	②	庁内調整	計画 実績		庁内調整 未着手			
		③	業者調整	計画 実績		業者調整 業者調整			業者調整
	目標効果額	実績効果額	④	仕様書案作成	計画 実績		仕様書案作成		
	検討後に設定	-	⑤		計画 実績		委託効果の検証・実施判断		
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	計画通りに進んでいない 1	計画通り	3	計画通り	3
8/12	-			指定管理施設を含む調整を行うこと	仕様書案の作成に向けて取り組むこと	費用対効果の検証結果を踏まえ、コスト削減を見込める方法を模索すること	検討結果を踏まえ、新たな方法での包括委託を模索すること		
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	対象業務の選定(業者からの聞き取り及び見積もり徴取)	計画 実績	聞き取り及び見積もり徴取 未実施				
	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施	②	①の効果検証、実施判断	計画 実績		①の効果検証及び実施判断 未実施	未実施		
		③	包括委託方法の再検討	計画 実績		業者からの聞き取り調査 未実施	未実施		
	目標効果額	実績効果額	④	仕様書案作成及び実施準備	計画 実績		関係課との調整 仕様書案作成	実施準備	
	-	-	⑤		計画 実績		未実施	未実施	先進市調査
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	未着手	0	未着手	0	計画通りに進んでいない
1/12	-			巻き返しを図ること	早急に着手すること	早急に着手すること	来年度巻き返すこと		
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	対象業務の選定(業者からの見積もり徴取及び先進市への聞き取り)	計画 実績	聞き取り及び見積もり徴取 業者ヒアリング	対象業務の選定			
	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施	②	①の効果検証、実施判断	計画 実績		①の効果検証及び実施判断 未実施	未実施		
		③	仕様書案作成及び実施準備	計画 実績		関係課との調整 未実施	仕様書案作成 成果運動断念、課題、方向性抽出	未実施	未実施
	目標効果額	実績効果額	④		計画 実績				
	-	-	⑤		計画 実績				
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない
3/12	-			本年度は、成果運動型民間委託導入として、市庁舎の業務について事業者と検討を行ってきたが、現状の契約において一定の成果が上がっているため、事業者から導入できないとの回答があり、成果運動型については期待できない。今後は、公共施設の再編の同行を注視しつつ、スケルメリットが働く件数を確保していく必要がある。	コロナ禍でもあり遅れが生じているが、状況に応じて実施に努めること	段階を踏んで方向性を固めていくこと	施設再編の同行を注視しつつ、方向性の具体化を検討すること	施設再編の同行を注視しつつ、方向性の具体化を検討すること	
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	対象業務の選定	計画 実績	庁内照会・調整 未実施				
	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施	②	①の効果検証、実施判断	計画 実績		事業者への見積り依頼 未実施	⑤に関連する業務の選定 実施判断		
		③	仕様書案作成及び実施準備	計画 実績			関係課との調整 未実施	仕様書案作成 関係課との調整	実施準備
	目標効果額	実績効果額	④	予算要求	計画 実績		⑤に係る仕様書案の作成 予算要求		
	-	-	⑤	DX化の検討	計画 実績		DX化の導入検討 DX化の検討・業者調整 要件定義の検討	FMにおけるDXモデルの提示・庁内合意形成	トライアル(電子契約)の実施
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通り
8/12	-			年度途中において、FMDX化の方向性に舵を切り、進めていくこととし、庁内の合意形成に一定の時間をかけた結果、合意形成を図ることができた。来年度も引き続き、FMDXの事業を進展させていく。	実現可能な施設・業務に絞り、財政効果を主体に取り組むこと	実現可能な施設・業務に絞り、財政効果を主体に取り組むこと	DX化の導入については、庁内調整を実施したうえで進めること	令和4年度以降も引き続きDX化の導入については、庁内調整を実施したうえで進めること	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針2	③	項目	電力及びガス調達における一般競争入札の実施						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	※2018年度の目標のうち実施できなかった低圧電力及びガスの入札については、2019年度に行います。  平成30年度の電力調達契約の更改に伴い、ガスの調達も併せて実施する。	目標		・入札の実施	【2018年度未実施の取組みを一年延長】						
		目標効果額	-	2,700千円	386千円	-	-				
		区分	C	実施責任者	施設再編室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
所管課	施設再編室	各課の取組み									
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目	①	計画	電力・ガスの一括調達に向けた検討				検討		
			実績	検討							
			②	計画	・ 調達に係る他市事例の研究					研究	
			実績	研究							
			③	計画							
	目標効果額	実績効果額									
	-	-									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	1	1	1	1	計画通り	3	
	3 / 3		一括調達に向け、次年度に入札を実施することを確認した。	コメント						次年度の入札を着実に実施すること。	
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目	①	計画	仕様書案の検討						
			実績	仕様書案の検討							
			②	計画	・ 入札の実施		実施				
			実績	電力のみ実施							
			③	計画							
	目標効果額	実績効果額									
	2,700千円	10,510千円									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	2	2	2	2	計画通りに進んでいない	1	
	7 / 12	3 / 3	高圧電力のみ入札を実施し、11月より新契約に切替えた。低圧とガスについては、使用量等のデータ把握に遅れが生じたため、入札実施には至らなかった。	コメント	ガス等の調達に向け、取組みを進めること	今年度中に、低圧、ガスの入札を行うこと	低圧、ガスの入札準備を着実に進めること	成果運動型民間委託契約の中での実施も検討すること			
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目	①	計画	各施設の現契約及び使用状況調査のとりまとめ						
			実績	調査のとりまとめ							
			②	計画	仕様書案の作成		作成中				
			実績	作成中							
			③	計画	入札の実施(成果運動型民間委託契約の動向により実施判断)			実施判断	入札		
	目標効果額	実績効果額									
	386千円	25,224千円									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	2	1	0	0			
	3 / 9	3 / 3	他業務が繁忙であったため、一部項目についての調査に留まってしまった。	コメント	概ね予定通りの進捗	仕様書を作成し、計画に沿って進めること	計画に沿って取組を進めること				
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目	①	計画	包括委託の検討に併せ、実施方針を決定						
			実績	未実施							
			②	計画	仕様書案の作成		仕様書案作成				
			実績	未実施							
			③	計画	入札の実施(成果運動型民間委託契約の動向により実施判断)			予算要求	入札		
	目標効果額	実績効果額									
	386千円	29,432千円									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	0	1	1	1			
	2 / 9	3 / 3	ガス契約については入札で検討を進めていくが、入札の導入に伴い別の保守契約に影響を及ぼす可能性があるため、入札対象物件に加えるかの判断が難しく、仕様書作成が課題である。	コメント	コロナ禍でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること	段階を踏んで方向性を固めていくこと	予定通りの進捗				
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	年間実施項目	①	計画	電力(高圧)調達の実施	入札	関係者(課)への周知及び調整			電力の切り替え	
			実績	関係課との調整	入札	関係課との調整				電力の切替	
			②	計画	電力(低圧)調達の実施	入札	関係者(課)への周知及び調整				電力の切り替え
			実績	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施		未実施	
			③	計画	ガス調達の実施	対象契約の選定	関係者(課)への周知及び調整	入札			ガスの切り替え
	目標効果額	実績効果額									
	-	33,249千円									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	1	1	1	1			
	4 / 12	-	ガス及び低圧電力の入札については、入札の効果額が少ないことや他業務が繁忙であったことから、未達となった。来年度については、これらの入札実施に係る課題整理を図っていく。	コメント	残りの低圧電力及び、ガス調達について、取り組みを進めること	残りの低圧電力及び、ガス調達について、取り組みを進めること	引き続き、低圧電力及び、ガス調達について、取り組みを進めること	低圧電力及びガス調達について、対象契約の選定、担当課調整を経て、入札を行うこと			

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針2	④	項目	指定管理者制度のあり方の検討							
5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度					
実施内容	指定管理者制度の未実施施設に対する導入の検討及び複数施設の一括指定管理など、指定管理者制度のあり方について検討する。	目標	・関係各課と指定管理制度の在り方を検討	・公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画をふまえて検討			・検討項目の内容を随時実施					
	目標効果額	-	-	-	-	-						
所管課	総務課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと			
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
2017年度	今年度の目標	年間実施項目	① 対象施設、指定管理期間等の把握	計画					把握			
	・関係各課と指定管理制度の在り方を検討		②	計画					把握			
			③	計画								
			④	計画								
			⑤	計画								
		目標効果額	実績効果額	計画								
-	-	実績										
年間評価点	コメント	振り返り	平成27年度に指定管理者選定基準等、制度運用の見直しを関係課調整のもと、行っているが更なる改善に向け取り組む。	進捗評価	-	-	-	計画通り	3			
3 / 3				コメント					次年度は施設ごとの状況を踏まえた検討を行うこと。			
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
2018年度	今年度の目標	年間実施項目	① 他団体の制度運用状況の確認	計画	他市状況把握							
	・公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画をふまえて検討		② 本市における制度運用の方向性の検討	計画	他市状況把握							
			③ 関係各課と指定管理者制度の在り方を検討	計画		制度運用の検討						
			④	計画					庁内調整			
			⑤	計画					未実施			
		目標効果額	実績効果額	計画								
-	-	実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	制度運用について検討の結果、指定管理対象施設の拡大は現状の施設配置のもとでは困難であるため、来年度策定予定の個別施設計画をふまえて検討する。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	未着手	0
9 / 12	-		コメント		予定通りの進捗		次年度は具体的な検討をはじめること(個別施設計画策定後)					
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
2019年度	今年度の目標	年間実施項目	① 導入可能施設のリスト化	計画	導入可能施設のリスト化							
	・公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画をふまえて検討		② 政策決定会議で協議	計画	未実施	未実施			リスト化			
			③	計画				協議				
			④	計画				未実施				
			⑤	計画								
		目標効果額	実績効果額	計画								
-	-	実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	第三四半期にリスト化まではこぎつけたもの、政策決定会議における協議まで行っていない。ただ、個別施設計画における各施設の具体的な方向が示されていない部分が多い中でのこれ以上の検討は困難なため、取組終了とする。	進捗評価	未着手	0	未着手	0	計画通りに進んでいない	1	-	
1 / 9	-		コメント		個別施設計画の進捗状況次第ではあるが、庁内連携の上、現在の実情等に基づいて可能な範囲から実施すること		個別施設計画における各施設の具体的な方向性が示されておらず、協議は困難となっている					

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
実施内容	給与の支払い等に係る計算事務の外部委託化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討	2018年度で取組み終了 【費用対効果が見合わないため】						
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-	-	
所管課	人事課	区分	C 各課の取組み	実施責任者 人事室課長	評価者	行革担当部長	評価周期 四半期ごと				
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2017年度	今年度の目標	年間実施項目	① 他市事例の研究等	計画	他市事例の調査研究						
	・他市事例の研究		②	計画	他市事例の調査研究、人事給与システム・出退勤システムの更改・導入を検討						
			③	計画							
			④	計画							
			⑤	計画							
			⑥	計画							
	目標効果額		実績効果額	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	
年間評価点	コメント	振り返り	調査により、府内における給与計算事務の委託団体が少数であることを把握した。次年度は、出退勤システム導入後における費用対効果の検討を行う。	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3		
12 / 12	-										
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2018年度	今年度の目標	年間実施項目	① 他市事例の研究(継続)	計画	調査・研究						
	・費用対効果の検討		② 給与システムの移行及び出退勤・人事評価システムの導入	計画	仕様書作成及び庁内調整	プロボ・契約	システム移行・使用方法の職員周知	運用開始			
			③ 費用対効果の検討	計画	仕様書作成及び庁内調整	契約	システム移行	テスト	運用		
			④	計画			費用対効果の検討		検討開始		
			⑤	計画					未実施		
			⑥	計画							
	目標効果額		実績効果額	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない
検討後に設定	-	振り返り	本市職員規模では、費用対効果でメリットあられず。	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1
7 / 12	-										
コメント			予定通りの進捗	他市事例の確認等費用対効果の検討を行うこと	費用対効果の検証結果から取組継続か否か結論をだすこと。	費用対効果の検証結果が見合わないため、取組みを終了する					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・庁内調整	・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整った第実施							
	目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-				
所管課	人事室	区分	C 各課の取組み	実施責任者 人事室課長	評価者 行革担当部長	評価周期 四半期ごと					
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 他市事例の研究	計画 実績	他市事例の調査・研究 他市事例の調査・研究							
	年間実施項目 ・他市事例の研究	②	計画 実績								
		③	計画 実績								
		④	計画 実績								
		⑤	計画 実績								
		目標効果額	実績効果額								
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	河北6市は、一部委託(警備・清掃)もしくは、本市同様、非常勤職員の任用であることを把握した。次年度はこの結果をもとに検討をすすめる。							
	12 / 12	-	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
			コメント	次年度は、可能な限り課題抽出、庁内調整まで進めること。							
		振り返り									
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 庁舎管理業務員のあり方検討	計画 実績	他市事例の調査・研究、庁舎管理・時間外受付業務のあり方検討							
	年間実施項目 ・課題抽出 ・庁内調整	② 庁内調整	計画 実績	庁舎業務員の業務洗い出し		課題抽出中		他市事例検討			
		③	計画 実績				庁内調整				
		④	計画 実績				未実施				
		⑤	計画 実績								
		目標効果額	実績効果額								
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	他市事例を検討したが、婚姻、死亡届等の受付業務の課題等、総合的な費用対効果が見いだせないと考える。							
	9 / 12	-	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1
			コメント	予定通りの進捗							
		振り返り	課題整理を行うこと								
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 包括管理委託の検討結果を踏まえた課題整理	計画 実績	課題整理 整理中							
	年間実施項目 ・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整った第実施	② 費用対効果の検討及び実施判断	計画 実績	費用対効果の検討		実施判断					
		③	計画 実績	未実施		未実施					
		④	計画 実績								
		⑤	計画 実績								
		目標効果額	実績効果額								
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	他市事例を基に、手続関係や障がい者雇用率の課題解決の方向性は見いだせた。あとは費用対効果と、実施判断に向けた職員団体への協議申入れのタイミングが課題である。							
	4 / 9	-	進捗評価	計画通り	3	未着手	0	計画通りに進んでいない	1		
			コメント	予定通りの進捗							
		振り返り	組合との他の協議事項終了後、本件についても交渉を始めること								
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 包括管理委託の検討結果を踏まえた課題整理	計画 実績	課題整理 未実施							
	年間実施項目 ・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整った第実施	② 費用対効果の検討及び実施判断	計画 実績	費用対効果の検討		実施判断					
		③	計画 実績	未実施		未実施					
		④	計画 実績								
		⑤	計画 実績								
		目標効果額	実績効果額								
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	障がい者雇用率の経過措置が令和3年2月末日をもって終了するため、3月から法定雇用率が2.5%から2.6%となることから、委託することにより、法定雇用率の達成がより厳しくなること、委託業者ではできない業務が発生するため、市民サービス低下が委託時の懸念点である。							
	3 / 12	-	進捗評価	未着手	0	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
			コメント	コロナ禍でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること							
		振り返り	まずは組合との協議を進めていくこと								
		振り返り	課題に対する具体的な費用対効果の検証を行うこと。								
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 費用対効果の検討及び実施判断	計画 実績	費用対効果の検討 未実施							
	年間実施項目 ・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整った第実施	②	計画 実績	費用対効果の検討		未実施					
		③	計画 実績								
		④	計画 実績								
		⑤	計画 実績								
		目標効果額	実績効果額								
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	令和3年度については、費用対効果の算出及び業務の洗い出しを行った。業務委託に当たり困難と思われる休日や時間外の電話対応や緊急対応について業務のあり方について整理していきたい。							
	6 / 12	-	進捗評価	未着手	0	計画通り	3	未着手	0	計画通り	3
			コメント	課題に対する具体的な費用対効果の検証を行うこと							
		振り返り	予定通りの進捗								
		振り返り	第2四半期に算出した費用対効果の内容を基に、実施判断について検討を進めること								
		振り返り	予定通りの進捗								
		振り返り	令和4年度以降も引き続き検討を進めること								

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針2	⑤・3	項目	草刈及びスクリーン清掃業務、ごみ等拠点回収業務、放置自転車撤去業務委託化						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	目標 ・実施に向けた検討	目標	・実施に向けた検討	・費用対効果の検討	・技能労務職のあり方の検討を踏まえ、実施に向けた調整をはじめ、準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-	-	-	
所管課	人事室及びその他所管課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
平成29(2017)年度	今年度の目標	年間実施項目 ① 実施に向けた検討 ② ③ ④ ⑤	計画	実施に向けた検討							
	実績		技能労務職の職のあり方検討								
	計画										
	実績										
	計画										
	実績										
目標効果額	実績効果額										
-	-										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	技能労務職との兼ね合いがあるため、来年度も引き続き検討を続ける必要がある。	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1		
4 / 12	-			コメント	次年度は、可能な限り費用対効果の検討まで行うこと。						
実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
平成30(2018)年度	今年度の目標	年間実施項目 ① 技能労務職の職のあり方検討(継続) ② 費用対効果の検討 ③ ④ ⑤	計画	技能労務職の職のあり方検討							
	実績		全庁的な協力体制について会議を実施・組合と覚書を締結		未実施						
	計画										
	実績										
	計画										
	実績										
目標効果額	実績効果額										
検討後に設定	-										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	今後の技能労務職の方向性を示す職の在り方を先に協議確立させるための協議未実施	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1		
6 / 12	-		コメント	予定通りの進捗		取組みを前進させること		取組みを前進させること			
実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
令和元(2019)年度	今年度の目標	年間実施項目 ① 技能労務職の職のあり方検討(継続) ② ③ ④ ⑤	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施		今後の方針を決定					
	実績		協議申入		未実施		未実施		庁内協議準備		
	計画										
	実績										
	計画										
	実績										
目標効果額	実績効果額										
-	-										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	今年度は、例年の給与改定に加え、会計年度任用職員制度の創設や休暇の見直しなど、職員団体との協議が多岐にわたったため、技能労務職のあり方については後手にまわってしまった。今後、協議を重ねていきたい。	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	計画通りに進んでいない	1		
3 / 12	-		コメント	協議を実施すること		まずは協議を実施すること		第1歩として庁内協議を実施すること			
実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
令和2(2020)年度	今年度の目標	年間実施項目 ① 技能労務職の職のあり方検討(継続) ② ③ ④ ⑤	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施		庁内協議		組合協議		採用計画反映	
	実績		未実施		庁内協議		組合交渉		未実施		
	計画										
	実績										
	計画										
	実績										
目標効果額	実績効果額										
-	-										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	他市の状況調査を行い、各団体において、直営・委託の状況を把握した。これを基に、業務のあり方について検討していきたい。	未着手	0	計画通り	3	計画通り	3	未着手	0
6 / 12	-		コメント	コロナ禍でもあり未実施だが、状況に応じて実施に努めること		予定通りの進捗		予定通りの進捗		組合協議等の課題はあるが、引き続き検討を続けること	
実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
令和3(2021)年度	今年度の目標	年間実施項目 ① 技能労務職の職のあり方検討 ② ③ ④ ⑤	計画	業務のあり方の検討		業務のあり方の検討		組合協議		次年度に向けた協議	
	実績		庁内協議		組合交渉		庁内協議		組合交渉		
	計画										
	実績										
	計画										
	実績										
目標効果額	実績効果額										
-	-										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	技能労務職配属課の長を集め、今後の退職を見据えた対応について協議し、令和4年度予算でできる限り直営業務を業務委託に切り替える方向となった。今後も協議の機会を設け、対応を検討していきたい。	未着手	0	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
9 / 12	-		コメント	他市事例等も参考に検討を進めると共に、組合協議への筋道を検討すること		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗 令和4年度以降も引き続き検討を行うこと	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針2	⑥・1	項目	事務事業等にかかる広域連携の推進				
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	【旧項目】「事務事業等にかかる広域共同処理の推進」を終了し、2019年度から項目及び実施内容を変更しました。 ※変更前の実施内容は、2018年度のシートをご参照下さい	目標	【旧項目】「事務事業等にかかる広域共同処理の推進」での実施目標		近隣市の状況と意向の把握 ・実施に向けた意見交換の開始				
	平成30年12月に大阪府が取りまとめた「広域連携に関する研究」報告書の内容を踏まえつつ、広域連携可能な事務事業等に関し、大阪府及び近隣市との研究を行う。	目標効果額	-	-	-	-	-	-	-
所管課	秘書政策課及び他所各課	区分	B	実施責任者		評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
今年度の目標	年間実施項目 ・他市事例の研究 ・対象事例の洗い出し	①	計画	計画	意見交換			意見交換	
		②	実績	実績	意見交換			意見交換	
目標効果額	実績効果額	③	計画	計画					
-	-	④	実績	実績					
進捗評価点	目標評価点	⑤	計画	計画					
6/6	-	⑥	実績	実績					
年間評価コメント		振返り	大阪府のコーディネートにより、近隣市と意見交換の場を設けているが、対象事例の洗い出しには至っていない。		計画通り	3	計画通り	3	
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
今年度の目標	年間実施項目 ・他市事例の研究 ・対象事例の洗い出し	①	計画	計画	意向把握				
		②	実績	実績	意向把握				ブロック会議
目標効果額	実績効果額	③	計画	計画	抽出		優先順位決定		
-	-	④	実績	実績	未実施		寝屋川市との連携協定締結		研究会
進捗評価点	目標評価点	⑤	計画	計画					
8/9	-	⑥	実績	実績					
年間評価コメント		振返り	ブロック会議を通じ、共同調達に向けた対象事例の洗い出しは一定行われたが、仕様等の違いから、実施できる状況には至っていない。施設の共同利用に向けた寝屋川市との研究においても、令和元年度以降の着手となる見込みである。		ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
今年度の目標	年間実施項目 ・近隣市の状況と意向の把握 ・実施に向けた意見交換の開始	①	計画	計画	ブロック会議				ブロック会議
		②	実績	実績	ブロック会議				ブロック会議
目標効果額	実績効果額	③	計画	計画	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
-	-	④	実績	実績	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
進捗評価点	目標評価点	⑤	計画	計画					
12/12	-	⑥	実績	実績					
年間評価コメント		振返り	ブロック会議を通じ、他市状況等の情報共有は行っているものの、各市毎の個別事情もあり、具体的な進展は期待できる状況には無い。施設の共同利用に向けた寝屋川市との研究については、両市の所管部局から資料提供いただき、意見交換を行ったが、短期の実現は困難な見通しと意料している。		計画通り	3	計画通り	3	計画通り
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
今年度の目標	年間実施項目 ・近隣市の状況と意向の把握 ・実施に向けた意見交換の開始	①	計画	計画	ブロック会議				ブロック会議
		②	実績	実績	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
目標効果額	実績効果額	③	計画	計画	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
-	-	④	実績	実績	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
進捗評価点	目標評価点	⑤	計画	計画					
8/12	-	⑥	実績	実績					
年間評価コメント		振返り	コロナ禍により、会議の延期、または書面開催となったことにより、意見交換できる機会は少なかったが、寝屋川市との間では、野外活動センターの在り方災害時における避難所の共同利用の可能性にかかる意見交換を行ったほか、北河内都市連絡協議会においては、府城一水道及び下水の広域化について情報交換を行った。また、大東市との間では、広域連携会議を2回実施し、JR四条駅駅前整備に伴う、仮設給排水装置にかかる協議を		ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)
今年度の目標	年間実施項目 ・近隣市の状況と意向の把握 ・実施に向けた意見交換の開始	①	計画	計画	ブロック会議				ブロック会議
		②	実績	実績	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
目標効果額	実績効果額	③	計画	計画	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
-	-	④	実績	実績	研究会の開催、情報交換				研究会の開催、情報交換
進捗評価点	目標評価点	⑤	計画	計画					
7/12	-	⑥	実績	実績					
年間評価コメント		振返り	令和3年度は、ブロック会議については、例年どおり他市との情報共有、意見交換を行った。寝屋川市との研究会については、公共交通の利便促進における市域間の連携等について意見交換を行った。大東市との勉強会については、駅前再整備等について、勉強会を開催した。		計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通り

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の80%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針2 ⑥・2 項目 下水道事業における処理区統合の推進

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度	
実施内容	※2019年度までの実施目標としていた「処理区統合に係る管渠施設の整備」を2020年度まで延長しました。	目標	【管渠施設の整備を1年延長して2020年度まで実施】				・処理区統合	
	下水道事業における処理区統合を推進する。	目標	・処理区統合に係るポンプ場施設の整備				・処理区統合	
	目標効果額	-	-	-	-	-		
所管課	下水道課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	下水道課長	評価者	行革担当部長 評価周期 四半期ごと	
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 管敷設工	計画	設計・協議	施工			
	・処理区統合に係る管渠施設の整備	年間実施項目	② 管敷設工	実績	設計・協議	施工		
			③ 管敷設工	計画	設計	設計・協議	施工	
	目標効果額	実績効果額	④	計画		設計・協議	施工	
	-	-	⑤	実績		設計・協議	施工	
	進捗評価点	目標評価点	④	計画				
	12 / 12	-	⑤	実績				
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通り	3	計画通り	3	計画通り
	コメント		振り返り	引き続き処理区統合に向けた施設整備を円滑にすすめること。				
12 / 12		目標達成。						
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 管敷設工(水管橋含む)	計画	設計・協議	施工			
	・処理区統合に係る管渠施設の整備	年間実施項目	②	実績	設計・協議	施行		
			③	計画				
	目標効果額	実績効果額	④	計画				
	-	-	⑤	実績				
	進捗評価点	目標評価点	⑤	計画				
	11 / 12	-	⑤	実績				
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り
	コメント		振り返り	国、府間の協議に時間がかかり、進捗が遅れる場面もあったが、計画していた区間の下水道管敷設工事を年度内に終えることができた。				
11 / 12		-	市は協議をしたが、府と国の調整が遅れている。					
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 管敷設工	計画	設計・協議	施工			
	・処理区統合に係る管渠施設の整備 ・処理区統合に係るポンプ場施設の整備	年間実施項目	②	実績	協議	契約	施工(1/28 完了)	
			③	計画	協定	協定に基づき、日本下水道事業団が施工		
	目標効果額	実績効果額	④	計画				
	-	-	⑤	実績	要請	協定	協定に基づき、日本下水道事業団が施工	
	進捗評価点	目標評価点	⑤	計画				
	10 / 12	-	⑤	実績				
	進捗評価	目標評価	振り返り	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り
	コメント		振り返り	管渠設工については、予定通り終了したが、ポンプ場化工事については、下水道事業団の入札が一部不調となったため、遅れが生じている。				
10 / 12		-	引き続き進めること					
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① 管敷設工	計画	設計・協議	施工			
	・処理区統合に係る管渠施設の整備 ・処理区統合に係るポンプ場施設の整備	年間実施項目	②	実績	設計・協議	入札	施工	完成
			③	計画		協定に基づき、日本下水道事業団が施工		試験
	目標効果額	実績効果額	④	計画				
	-	-	⑤	実績	施工	施工	施工	
	進捗評価点	目標評価点	⑤	計画				
	11 / 12	-	⑤	実績				
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通り	3	計画通り	3	計画通り
	コメント		振り返り	一部工事の入札が不調となり、全体工程に遅れが生じたため圧送試験は行えず、来年度第1四半期に試験実施することとしたため、圧送開始来年6月1日予定。				
11 / 12		-	予定通りの進捗					
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	① ポンプ場化工事(日本下水道事業団との協定に基づく委託)	計画	試験				
	・処理区統合に係るポンプ場施設の整備 ・鴻池処理区へ統合	年間実施項目	②	実績	試験			
			③	計画		田原処理区汚水を鴻池処理区へ圧送開始		
	目標効果額	実績効果額	④	計画				
	-	-	⑤	実績				
	進捗評価点	目標評価点	⑤	計画				
	3 / 3	-	⑤	実績				
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通り	3	-	-	
	コメント		振り返り	計画通り試験は5月末で完了し、6月より圧送を開始した。				
3 / 3		-	予定通りの進捗					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針2	⑥・3	項目	し尿処理の広域化の推進						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	※2019年度から実施内容を変更 ※変更前の実施内容は、2018年度のシートをご覧下さい。	目標	【旧実施内容での実施目標】								
	し尿希釈放流施設の流域下水道処理施設内への共同設置をめざして、大阪府、近隣市と共に検討を行う。	目標効果額	-	-	-	-	-	-	-	-	
	・他市事例の研究	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
所管課	生活環境課及び下水道課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	①	他市の状況調査(聞き取り調査)	計画 実績				調査 調査			
	・他市事例の研究	年間実施項目	②		計画 実績						
			③		計画 実績						
	目標効果額	実績効果額	④		計画 実績						
	-	-	⑤		計画 実績						
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	北河内各市との中長期的な課題であると認識を共有した		-		-	計画通り	3	-
	3 / 3										
	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	①	汚水処理施設共同整備事業(MICS)の調査研究	計画 実績	実施事例及び制度の研究			庁内調整・課題の抽出			
・他市事例の研究	年間実施項目	②	関係者との協議調整	計画 実績	庁内調整	庁内調整	取組終了(大阪府主導で広域化を検討)				
		③		計画 実績	関係者協議	国の通知を受けた府の動向を把握	関係者との協議調整				
目標効果額	実績効果額	④		計画 実績			大阪府の協議体で協議調整				
-	-	⑤		計画 実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	当初は近隣市で広域化の検討を行う予定であったが、府が協議体を立ち上げたことにより、主体がそちらに移行したため、次年度からは目標を変更する。	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	-										
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	①	大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討	計画 実績		会議				会議	
	・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討 ・関係市との協議、調整	年間実施項目	②	関係市(門真市・寝屋川市)との協議、調整	計画 実績		会議			会議	
			③		計画 実績		会議		会議		
	目標効果額	実績効果額	④		計画 実績						
	-	-	⑤		計画 実績						
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	次年度も引き続き、関係市との協議も含め、大阪府汚水処理事業の広域化、共同化検討会での検討を行う。	-	計画通り	3	-	ほぼ計画通り	2	
	5 / 6	-									
	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	①	大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討	計画 実績		会議				会議	
・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討 ・関係市との協議、調整	年間実施項目	②	関係市(門真市・寝屋川市)との協議、調整	計画 実績		会議			会議		
		③		計画 実績		会議		会議			
目標効果額	実績効果額	④		計画 実績							
-	-	⑤		計画 実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	次年度も引き続き、関係市との協議も含め、大阪府汚水処理事業の広域化、共同化検討会での検討を行う。	-	計画通り	3	-	ほぼ計画通り	2		
5 / 6	-										
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	①	大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討	計画 実績		会議				会議	
	・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討 ・関係市との協議、調整	年間実施項目	②	関係市(門真市・寝屋川市)との協議、調整	計画 実績		会議			会議	
			③		計画 実績		会議		会議		
	目標効果額	実績効果額	④		計画 実績						
	-	-	⑤		計画 実績						
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	次年度も引き続き、関係市との協議も含め、大阪府汚水処理事業の広域化、共同化検討会での検討を行う。	-	計画通り	3	-	ほぼ計画通り	2	
	5 / 6	-									
	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	①	大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討	計画 実績		会議				会議	
・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討 ・関係市との協議、調整	年間実施項目	②	関係市(門真市・寝屋川市)との協議、調整	計画 実績		会議			会議		
		③		計画 実績		会議		会議			
目標効果額	実績効果額	④		計画 実績							
-	-	⑤		計画 実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	令和3年度で大阪府の広域会議は終了したが、担当者会議等があれば情報共有し、し尿処理の広域化について検討を行うこと	-	計画通りに進んでいない	1	-	計画通りに進んでいない	1		
2 / 6	-										
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	①	大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討	計画 実績		会議				会議	
	・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討 ・関係市との協議、調整	年間実施項目	②	関係市(門真市・寝屋川市)との協議、調整	計画 実績		会議			会議	
			③		計画 実績		会議		会議		
	目標効果額	実績効果額	④		計画 実績						
	-	-	⑤		計画 実績						
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	令和3年度で大阪府の広域会議は終了したが、担当者会議等があれば情報共有し、し尿処理の広域化について検討を行うこと	-	計画通りに進んでいない	1	-	計画通りに進んでいない	1	
	2 / 6	-									

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
実施内容	新規の市単独事業について、原則、あらかじめ終了時期の設定を行う。	目標	・他市事例の研究	・運用方法の検討・決定	2018年度で取組み完了					
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-	-
		区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 総務部長				評価者 副市長	評価周期 四半期ごと	
所管課	財政課及び政策推進課									
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
2017年度	今年度の目標		①	次年度予算における新規拡充予算要求調査の作成	計画		調査の検討・作成			
	・他市事例の研究	年間実施項目	②	上記調査に基づく査定の実施	計画		調査作成依頼	査定		
			③	他市事例の研究	計画		調査作成依頼	査定		
			④		計画				研究	
	目標効果額	実績効果額	⑤		計画					
	-	-	⑤		実績					
	年間評価点	コメント	振り返り	目標達成 次年度予算編成に活用するための新規拡充予算要求調査を作成し、査定を行った。	進捗評価 コメント	—	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
	9 / 9						本年度の実績を、次年度の運用方法の検討、決定につなげてください。			
	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	2018年度	今年度の目標		①	運用方法の検討・決定	計画		運用ルールの決定		
・運用方法の検討・決定		年間実施項目	②	運用ルールに基づいた当初予算要求	計画		運用ルール策定に向けての検討			
			③		計画		予算要求			
			④		計画		予算要求			
目標効果額		実績効果額	⑤		計画					
検討後に設定		-	⑤		実績					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標達成。前年度同様、新規拡充事業について予算編成時に終期等を設定し査定実施。今後、毎年度予算編成時に事業の進捗状況を確認し査定を実施していく。	進捗評価 コメント	—	ほぼ計画通り 2	計画通り 3	—		
5 / 6	-					各種調整のうえ、早急に運用ルールを策定すること		予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針3	②	項目	定期的な事業評価				
5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
実施内容	2019年度の実施目標を変更しています。 ※変更後は、2019年度のシートをご覧ください	目標	・他市事例の研究 ・事務ヒアリング（棚卸し）	・事業評価の仕組みの検討・決定	2018年度で取組み完了 【部長マニフェストの作成公表、働き方改革PT ICT・IoT活用指針等で実施】				
	定期的に事務事業評価を実施し、業務の棚卸等を行う。		目標効果額	-				検討後に設定	-
所管課	政策推進課及び財政課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総合政策部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
2017年度	今年度の目標	年間実施項目	① 所管事務実態調査の実施（財政課から照会）	計画	照会・回答	各課ヒアリング	結果まとめ		
	・他市事例の研究 ・事務ヒアリング（棚卸し）		②	計画	照会・回答	各課ヒアリング	結果まとめ		
			③	計画					
	目標効果額		④	計画					
	-		⑤	実績					
	年間評価点	コメント	進捗評価	1	計画通り	3	計画通り	3	
	9 / 9	振返り	コメント	目標達成事務事業が効果的かつ効率的な実施となっているのかなどについて調査を行い、課題の抽出を行った。	本年度、総務部で実施した「所管事務ヒアリング」を次年度の仕組みの検討に活用すること。				
今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
2018年度	今年度の目標	年間実施項目	① 事業評価の仕組みの検討、決定	計画	評価方法の検討、決定	調査作成			
	・事業評価の仕組みの検討・決定		②	計画	部長マニフェストの作成	第1四半期で取組み終了			
			③	計画					
	目標効果額		④	計画					
	検討後に設定		⑤	実績					
	進捗評価点	目標評価点	進捗評価	3	1	1	1		
	3 / 3	-	コメント	部長マニフェストの作成及び公表をもつて行うものとしたため、第1四半期で取組みを終了した。	予定通りの進捗	取組み内容を変更して第1四半期に実施済み			

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針3	③	項目	執務環境のあり方の検討						
5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度				
実施内容	<b>集中して事務処理を行える環境を整えることで、業務処理効率の向上を図る。</b> ・他事例の研究	目標		・課題抽出 ・庁内検討	・随時実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-			
		区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 他事例の検討	計画	他事例の調査・研究							
			実績	他事例の調査・研究							
			計画	他事例の調査・研究、給与システムの導入を検討							
			実績	他事例の調査・研究							
			計画	次年度の給与システム導入に向けた準備							
	目標効果額	実績効果額	② 給与システム更新に併せて、出退勤・人事評価システムの導入を検討	計画	内部調整						
			③ 組織改善システム導入についての検討	計画	システムの調査・研究						
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	※組織の現状を把握・分析を行うためのシステム、システムを利用した組織改善アンケート等により、組織の課題抽出と改善に向けて取組むべきことを把握することができる。										
本年度の準備を活かし、次年度に持ち越した給与システムの更新と出退勤システムの円滑な導入、早期運用開始に取り組むこと。											
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 給与システムの移行及び出退勤・人事評価システムの導入	計画	仕様書作成及び庁内調整		プロボ・契約	システム移行		運用開始		
			実績	仕様書作成及び庁内調整		契約	システム移行		調整、職員研修		
			計画	業者と調整		契約	職員アンケート及びアクションプランの実施		結果報告		
			実績	業者と調整		契約	一回目アンケート実施		二回目実施		
			計画	組織化		検討		予算要求		導入に向けた準備	
	目標効果額	実績効果額	② 組織改善アンケートと改善アクションの実施	計画	組織化準備					未実施	
			③ 庁内検討	計画	組織化準備					未実施	
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
	給与・庶務システムの更新、導入については、当初の予定より遅れた。組織改善アンケートは、スタートが遅れた意味であったが、総務部では、組織改善の効果検証を行うため、年内2回目の調査へと進めた。働き方改革は、翌年度実施に向けて取組むための課題抽出に向けてアラブセッションを実施中。										
本年度は集中して事務を行える環境の構築に取り組むこと。											
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 組織改善アンケートと改善アクションの実施	計画	1回目アンケート実施		2回目アンケート実施	3回目アンケート実施	4回目アンケート実施			
			実績	結果報告		結果報告	結果報告	結果報告			
			計画	契約、方針打合せ		1回目アンケート実施、説明会開催	2回目アンケート実施	3回目アンケート実施			
			実績	PTによる検討		PTによる検討		PTによる検討			
			計画	開催に向けた準備、打ち合わせ		PTによる検討		PTによる検討			
	目標効果額	実績効果額	② 庁内検討	計画	全庁不要物整理の実施						
			③ 全庁不要物整理の実施	計画	各課へ通知						
	進捗評価	目標評価	振り返り	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
	①ではアンケートから把握できた執務環境の課題として、不要物整理の実施を行った。②は働き方改革PTの検討となっているが、別の課題解決の検討を行っているため、例えばフリーアドレス等のハード面の検討までには至っていない。										
概ね予定通りの進捗											
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 組織改善アンケートと改善アクションの実施	計画	1回目アンケート実施		改善アクションの実施		2回目アンケート実施			
			実績	結果報告		結果報告		結果報告			
			計画	アンケート実施		結果報告		各課で話し合いの機会の設置			
			実績	PTによる検討		アンケート実施		結果報告			
			計画	各課で話し合いの機会の設置		予算要求		導入に向けた準備			
	目標効果額	実績効果額	② 庁内検討	計画	未実施						
			③ 全庁不要物整理等の実施	計画	全庁不要物整理の実施						
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
	昨年度より課題となっていた東別館の執務環境改善工事を実施し、東別館の執務環境は大きく改善した。来年度も、今年度実施した職員意識調査を基に、引き続き執務環境の改善等に関する把握に努めていく。										
コロナ禍であることや当初計画外であった④もあり他に遅れが生じているが、状況に応じて進めていくこと。											
年度途中で実施することとなった④の実施により東別館の執務環境は大きく改善できた。											
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標	① 組織改善アンケートと改善アクションの実施	計画	1回目アンケート実施		改善アクションの実施		2回目アンケート実施			
			実績	結果報告		結果報告		結果報告			
			計画	1回目アンケート実施		1回目結果報告及び改善アクションの実施		2回目アンケート実施			
			実績	2回目アンケート実施		2回目結果報告		改善アクションの実施			
			計画	全庁不要物整理の実施		全庁不要物整理の実施		全庁不要物整理の実施			
	目標効果額	実績効果額	② 全庁不要物整理等の実施(紙等予算不要物)	計画	全庁不要物整理の実施						
			③ 全庁不要物整理の実施	計画	全庁不要物整理の実施						
	進捗評価	目標評価	振り返り	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	今年度実施した職員意識調査やフリーアドレスの実証実験を基に、引き続き執務環境の改善等に関する把握に努めていく。										
コロナ禍であることも踏まえて、状況に応じて取り組みを進めていくこと。											
令和4年度以降も取り組みを継続すること また、実証実験した結果について庁内で共有すること											

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針3	④・1	項目	ICT化の推進と機能性の向上				
5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
実施内容	全庁的なICT化の推進と機能性の向上を図る。	目標	・他市事例の研究 ・課題抽出	・随時実施	2018年度で取組み完了 【2019年度以降は策定した指針で進捗管理】				
		目標効果額	-	-	-	-	-	-	
所管課	総務課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと
今年度の実施内容及び振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
2017年度	今年度の目標		① 他市事例の研究、視察、導入する場合の効果、課題の把握	計画			他市事例の研究		視察等
	・他市事例の研究 ・課題抽出	年間実施項目	② ICT化に係るセキュリティ面等の課題抽出	計画			他市事例の研究		課題の抽出
			③ 情報収集及び予算要求	計画			情報収集・予算要求		課題の抽出
	④ ICT化のロードマップフレームの策定(取組項目の抽出)	計画					ロードマップフレームの策定		ロードマップフレームの策定
	⑤	計画							
	目標効果額	実績効果額							
	-	-							
	年間評価点	コメント	電子申請システムの導入など府内におけるICT化の状況を一定把握するとともに、本市のICT化推進に向けて取組項目の抽出をした。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り
9 / 9			コメント	本年度に抽出した課題の解消に取り組むと共に、次年度以降はICT化推進を検討する各課への助言及び支援を行うこと。					
今年度の実施内容及び振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
2018年度	今年度の目標		① 各課のICT化に対する技術的支援及び助言の実施	計画					ICT化に対する技術的支援及び助言
	・随時実施	年間実施項目	② 庁内システムの全容把握(ヒアリングの実施等)	計画					ICT化に対する技術的支援及び助言
			③ ICT化のロードマップフレームの詳細設計	計画					地域IoT計画策定事業取組
	④ トライアルの実施、評価、導入検討、予算要求	計画	トライアルの実施	評価・導入検討	予算要求				予算要求
	⑤ 導入に向けての準備(導入する場合)	計画							導入に向けての準備
	目標効果額	実績効果額							
	-	-							
	進捗評価点	目標評価点	PTメンバーの積極的な取組により、計画どおり進められた。ICT、IoT活用指針策定。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り
12 / 12	-		コメント	予定通りの進捗			予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度
<b>ICTを含めた窓口業務効率化を検討する。</b> ※2018年度末 マイナンバーカード交付率 12.0% 証明書窓口交付率 100%	目標	・他事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・実施後は、交付率向上のための対応策を随時実施			
	目標効果額	-	-	-	-	-	-
	目標効果額	-	-	-	-	-	-
所管課	市民課、田原支所及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	市民生活部長	評価者	副市長
評価周期							四半期ごと
実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
今年度の目標	① 総合窓口及び一部民間委託を実施している先行市を視察	計画	先行市視察	先行市視察			
・他事例の研究	② メリット・デメリットの分析	計画	メリット・デメリットの分析	メリット・デメリットの分析			
	③ 窓口業務における市民サービスのあり方検討会での検討	計画	検討会での検討	検討会での検討			
目標効果額	実績効果額						
進捗評価点	目標評価点	振返り	他市視察の結果、一定、メリットデメリットの把握はできた。引き続き同規模市への調査を行う。コンビニ交付の動向等にも注視していく。				
9 / 9	-		計画通り	3	計画通り	3	計画通り
実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
今年度の目標	① 同規模市への調査	計画	同規模市への調査	同規模市への調査			
・費用対効果の検討 ・課題抽出	② 費用対効果の検討	計画	調査市の選定	視察先について内容検討			泉大津市へ視察
	③ 課題抽出	計画	費用対効果の検討	費用対効果の検討			
目標効果額	実績効果額	④ コンビニ交付等動向調査	計画	コンビニ交付見直し取組			課題抽出
		⑤	計画	未実施			未実施
進捗評価点	目標評価点	振返り	コンビニ交付については、次年度実施にこぎつけた。次年度は窓口ICT化に不可欠なマイナンバーカードの普及促進や窓口システムの導入に取り組む。				
9 / 12	-		ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り
実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
今年度の目標	① コンビニ交付事業	計画	参加申込・印鑑条例整理	システム整備・工程試験①	工程試験②	交付実施	運営・管理
マイナンバーカード 交付率20% 証明書窓口交付率90%	② 窓口受付システム導入による業務効率化	計画	窓口あり方検討会実施	業者選定・システム稼働	工程試験②、③、実 証試験完了	12/1実施済み	システムによる適正な運営管理
	③ マイナンバーカード普及促進	計画	広報	業者協議	契約方法検討	見積依頼	今年度実施無し
目標効果額	実績効果額						
進捗評価点	目標評価点	振返り	マイナンバーカード交付率16.9% 証明書窓口交付率98.0% 地域への出張受付と市役所(市民課)での休日受付を行った結果、マイナンバーカード交付が向上した。特に市役所での受付数が多かったため、来年度についても市役所での休日受付を行い引き続き交付率向上に向けて取り組んでいく。				
8 / 12	1 / 3		計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り
実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
今年度の目標	① マイナンバーカード、コンビニ交付普及促進	計画	広報・出張受付等	広報・出張受付等	広報・出張受付等	広報・出張受付等	
マイナンバーカード 交付率29% 証明書窓口交付率80%	② オンライン証明発行を利用した市民向け利便性向上の取り組み	計画	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	次年度実施に向けた協議等
	③ キャッシュレス決済の調査・検討	計画	庁内検討・業者調査	庁内検討・業者調査	庁内検討・業者調査	田原支所にて調査・研究・周知	実施検討
目標効果額	実績効果額						
進捗評価点	目標評価点	振返り	令和3年3月31日現在 マイナンバーカード交付率30.85% 証明書窓口交付率94.36% コロナ禍で出張受付は実施できなかったが、主に市役所(市民課)での休日受付を行った結果、マイナンバーカード交付率が向上した。来年度についても市役所での休日受付及び夜間受付を行い引き続き交付率向上に向けて取り組んでいく。				
10 / 12	1 / 3		ほぼ計画通り	2	計画通り	3	ほぼ計画通り
実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
今年度の目標	① マイナンバーカード、コンビニ交付普及促進	計画	広報・休日開庁等	広報・休日開庁等	広報・休日開庁等	広報・休日開庁等	
マイナンバーカード 交付率36% 証明書窓口交付率70%	② オンライン証明発行を利用した市民向け利便性向上の取り組み	計画	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究	証明書追加の調査・研究
	③ 先行実施中のキャッシュレス決済の状況確認	計画	状況確認	状況確認	状況確認	状況確認	状況確認
目標効果額	実績効果額						
進捗評価点	目標評価点	振返り	令和4年3月31日現在 マイナンバーカード交付率45.05% 証明書窓口交付率86.22% 証明書追加発行に向けた研究については費用面で困難な状況にあり、研究を行う程度にとどまった。 キャッシュレス決済について調査研究が進み、デジタル田原都市構想交付金の活用によりキャッシュレス決済拡大を次年度に進めていく方向となった。				
12 / 12	2 / 3		計画通り	3	計画通り	3	計画通り

○進捗評価点：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

		方針3	④・3	項目	公文書電子化の推進				
5年間の実施項目及び内容		年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度		
実施内容 2019年度から文書電子化比率を数値目標に設定し、各年度の実施目標を定めています。 ※実施計画は、2018年度のシートを参照下さい。 総務課及びその他所管課	2019年度から文書電子化比率を数値目標に設定し、各年度の実施目標を定めています。 ※実施計画は、2018年度のシートを参照下さい。	目標 ・廃棄文書の選別と廃棄 ・起案文書の統一 ・フォーマットの作成及び運用開始	目標 ・起案文書の統一 ・フォーマットの作成及び運用開始	目標 ・保存する紙文書の適切な廃棄、整理、リスト化 ・保存する紙文書の電子化に係る他市事例の研究	目標 ・文書管理システムの更新 ・保存する紙文書の電子化に向けた準備(リスト化等)	目標 ・電子化比率向上策を随時実施 ・保存する紙文書の電子化の実施	目標効果額 -	目標効果額 -	
	※2019年度末 文書電子化比率 70.8% 現年 文書電子化比率 20.2% 過年度リストラ率 20.2%	目標効果額 -	目標効果額 -	目標効果額 -	目標効果額 -	目標効果額 -	目標効果額 -	目標効果額 -	
所管課	総務課及びその他所管課	区分	A	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 廃棄文書の選別と廃棄	計画	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	
	② 予算措置 ③ ④ ⑤	計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	年間の評価点	コメント	振り返り	2016年度から書庫整理を実施。紙文書と文書管理システムとの連携(所在管理)に必要な予算措置をした。					
	12/12	-	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
6/12	-	コメント	次年度以降は執務スペース削減も視野に入れて取り組むこと。						
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 簿冊管理情報のリスト化	計画	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	
	② 起案文書の統一、フォーマットの作成及び運用開始 ③ 簿冊管理情報のシステム登録 ④ 文書事務ルールの検証及び文書ルールの明確化 ⑤ 職員研修の実施	計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	計画通り	1	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
	年間の評価点	コメント	振り返り	簿冊管理状況のリスト化を進められるよう、文書の振り分けを早期に終了させたこと。					
	6/12	-	進捗評価	計画通り	1	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
6/12	-	コメント	再度、各課の協力を要請し、まずは南小書庫の文書の振り分けを行い、リスト化を進めること。						
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 簿冊情報のリスト化	計画	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	
	② 文書の保存期間の見直し及び紙文書の適切な廃棄処理 ③ 全庁的な文書保存期間に係る基準の見直し ④ 保存する紙文書の電子化に係る他市事例の研究 ⑤ 電子決裁推進に効果的な次期文書管理システムの検討	計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	計画通り	2	計画通り	1	計画通り	1
	年間の評価点	コメント	振り返り	簿冊管理状況のリスト化を進められるよう、文書の振り分けを早期に終了させたこと。					
	5/12	1/3	進捗評価	計画通り	2	計画通り	1	計画通り	1
5/12	1/3	コメント	全般的に遅れているため、スケジュールに沿って進めること。						
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 簿冊情報のリスト化	計画	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	
	② 文書の保存期間の見直し及び紙文書の適切な廃棄処理 ③ 全庁的な文書保存期間に係る基準の見直し ④ 電子決裁推進に効果的な次期文書管理システムの検討	計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	計画通り	1	計画通り	1	計画通り	1
	年間の評価点	コメント	振り返り	簿冊管理状況のリスト化を進められるよう、文書の振り分けを早期に終了させたこと。					
	4/12	1/3	進捗評価	計画通り	1	計画通り	1	計画通り	1
4/12	1/3	コメント	簿冊管理状況のリスト化を進められるよう、文書の振り分けを早期に終了させたこと。						
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	① 簿冊情報のリスト化	計画	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	計画通り	
	② 文書の保存期間の見直し及び紙文書の適切な廃棄処理 ③ 全庁的な文書保存期間に係る基準の見直し ④ 電子決裁推進に効果的な次期文書管理システムの検討	計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
		計画	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
	目標効果額	実績効果額	進捗評価	計画通り	1	計画通り	1	計画通り	1
	年間の評価点	コメント	振り返り	簿冊管理状況のリスト化を進められるよう、文書の振り分けを早期に終了させたこと。					
	4/12	1/3	進捗評価	計画通り	1	計画通り	1	計画通り	1
4/12	1/3	コメント	簿冊管理状況のリスト化を進められるよう、文書の振り分けを早期に終了させたこと。						

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ●目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度	
実施内容	タブレット端末の導入による業務の効率化を検討する。	目標	・他事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・準備が整い次第実施			
	目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	総務課及びその他所管課 ※2019年度から所管課変更【旧：総務課】	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長 評価周期 四半期ごと	
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	①	タブレット端末を導入する他団体へのヒアリング	計画 実績	ヒアリング ヒアリング		
	・他事例の研究	②						
	目標効果額	実績効果額	③					
	-	-	④					
年間評価点	コメント	振り返り	他団体へのヒアリングから、無線LAN環境の構築やセキュリティ面の課題整理の必要性を確認した。					
6/6			進捗評価	計画通り	3			
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	①	セキュリティ面の課題抽出及び整理	計画 実績	課題抽出・検討 課題抽出		
	・費用対効果の検討 ・課題抽出	②	基盤整備に係る費用等の算出及び導入についての検討	計画 実績	仕様検討 費用算出	導入についての検討	予算要求	
	目標効果額	実績効果額	③					
	検討後に設定	-	④					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	ICT化指針の策定に併せて検討を行ったところである。導入によってペーパーレス化が進む等、業務効率化に寄与するものと考えている。					
8/9	-		進捗評価	計画通り	1	2	3	
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	①	予算化を前提として、運用方法の検討	計画 実績	運用の検討		
	・準備が整い次第実施	②	仕様等の検討	計画 実績	運用の検討と見積用計画書 仕様等の検討			
	目標効果額	実績効果額	③					
	-	-	④					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	アクセスポイントの設置は完了し、3月運用開始。					
6/12	-		進捗評価	計画通り	3	1	1	
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	①	運用・効果検証	計画 実績	運用・効果検証		
	・準備が整い次第実施	②	議会ペーパーレス化(議事事務局と運動) 想定	計画 実績	テレワーク実施 モバイルPC増設	運用実施 運用実施(自宅PC活用テレワークも実施)	運用開始・効果検証	
	目標効果額	実績効果額	③					
	-	-	④					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	庁内情報系端末について、無線化実施し、会議等においてペーパーレス化が進んだ。議会ペーパーレス化においては、入札不調による遅れもあったが、契約にこぎつけた。また、導入に関してのルール整理もできたので、並行して導入を行っていく。					
8/12	-		進捗評価	計画通り	3	1	2	
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標	年間実施項目	①	運用・効果検証	計画 実績	運用・効果検証		
	・準備が整い次第実施	②	Web会議システムの導入	計画 実績	運用に向けた検証 導入検証	準備 準備 入札 契約	運用開始・効果検証	
	目標効果額	実績効果額	③					
	-	-	④					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	保育施設等へ無線接続の端末追加やWeb会議システムの導入により人の移動や密の減少につながった(Web会議利用実績は656件/9箇月)。議会ペーパーレス化については、議会文書共有システムの導入により、印刷枚数の削減効果につながっている。(参考:令和3年度1,488,707枚(ページ数×ユーザー数でシステムによる算出))セキュリティポリシー改定については、令和4年3月にガイドラインが再度改定されたことを受けて、その内容を含めた改正を令和4年度に実施予定であることから見送ることとした。					
7/12	-		進捗評価	計画通り	3	1	2	

○進捗評価: 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点: 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針3	④・5	項目	議事録作成システム等の導入				
5年間の実施項目及び内容		年度 H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度			
実施内容	議事録作成システムまたはアプリ導入による、業務の効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・試験導入の実施 ・課題抽出	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-	-
所管課	総務課及び議会事務局	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	デモによる機能確認	計画 実績					デモ実施 デモ実施
	・他市事例の研究	年間実施項目	②	計画 実績					
			③	計画 実績					
	目標効果額	実績効果額	④	計画 実績					
	-	-	⑤	計画 実績					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	-	-	-	計画通り	3	
3 / 3	-		予算内示額に応じたアプリの機能を把握した。				できるだけ早期の実施に努めること。		
平成30(2018)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	他のアプリの機能確認	計画 実績	機能確認 機能確認				
	・費用対効果の検討 ・試験導入の実施 ・課題抽出	年間実施項目	②	計画 実績	案の検討 検討着手	仕様書案の検討			
			③	計画 実績	業者決定	業者決定			契約依頼
	目標効果額	実績効果額	④	計画 実績				導入と効果検証	
	検討後に設定	-	⑤	計画 実績			デモによる効果検証	デモによる効果検証	
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	計画通り 3	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	ほぼ計画通り 2		
7 / 12	-		最適なシステムを導入するに複数の機器のデモを経るなど、検討を重ねた。結果、予算上の制約もあり、十分な機器を調達できず、委員会室のみでの試行運用することとし、効果検証、課題抽出を行うこととした。	予定通りの進捗 7月にデモを実施すること	費用対効果を見極め、業者決定を行うこと	システムを最大限に活用できるルールづくりをすること	全庁的な活用を推進すること		
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	運用	計画 実績	運用 運用	運用実施 運用実施	運用実施 運用実施	運用実施 運用実施	
	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施	年間実施項目	②	計画 実績	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	
			③	計画 実績	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	
	目標効果額	実績効果額	④	計画 実績					
	-	-	⑤	計画 実績					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3		
12 / 12	-		リアルタイム文字起こしの検討を行うこととし、実証実験を更に進めるものとした	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗		
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	運用	計画 実績	運用 運用	運用実施 運用実施	運用実施 運用実施	運用実施 運用実施	
	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施	年間実施項目	②	計画 実績	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	
			③	計画 実績	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	効果検証 効果検証	
	目標効果額	実績効果額	④	計画 実績					
	-	-	⑤	計画 実績					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2	計画通り 3	計画通り 3		
10 / 12	-		以前より導入済みの議事録支援システムの利用については、一定効果が得られたが、令和3年度はこれに加え、リアルタイム文字起こしのシステムも導入という方向性で進めていくこととなった。	コロナの影響もあるが、状況に応じて実証実験を進めていくこと	コロナの影響もあるが、実証実験を進めていくこと	予定通りの進捗	予定通りの進捗		
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	①	リアルタイム文字起こし実施に向けた導入事業	計画 実績	導入計画・契約 導入計画・契約	導入 導入	運用実施・効果検証 運用実施・効果検証	運用実施・効果検証 運用実施・効果検証	
	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施	年間実施項目	②	計画 実績	導入計画・契約 導入計画・契約	導入 導入	導入 導入	導入 導入	
			③	計画 実績	導入計画 導入計画	導入 導入	導入 導入	導入 導入	
	目標効果額	実績効果額	④	計画 実績					
	-	-	⑤	計画 実績					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価 コメント	ほぼ計画通り 2	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3		
11 / 12	-		窓口での利用について（リアルタイム文字起こし）、複数課での検証を実施。当該システムでは窓口利用は難しいとの結論となったが課題等を得ることができた。議会のシステム整備についても、導入支援のためのサポートを実施し、導入検討を進めた。	議会のシステム整備について、導入に向けて着手すること	議会のシステムの整備について、今後も調整を行うこと	予定通りの進捗	予定通りの進捗 今後もリアルタイム文字起こしの窓口利用に向けた検討を進めること		

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

方針3	④・6	項目	登記申請のオンライン化
-----	-----	----	-------------

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
実施内容	オンライン申請導入による、業務の効率化を検討する。	目標	・現状把握	・費用対効果の検討 ・費用対効果が見込める場合は、実施に向けての調整	<b>2018年度で取組み終了</b> 【費用対効果が見込めないため】				
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-
所管課	税務課及びその他所管課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	税務課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと

今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
2017年度	今年度の目標	① 現状把握照会(他課含)	計画				照会
	・現状把握	年間実施項目	実績				照会
			②	計画			
			実績				
			③	計画			
			実績				
	④	計画					
	実績						
	⑤	計画					
	実績						
年間評価点	コメント	振り返り	進捗評価	—	—	—	計画通り 3
3 / 3		目標達成。 現状把握を実施した。	コメント				費用対効果が最大限に見込める方法を検討すること

今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
2018年度	今年度の目標	① 現状分析(他課含)	計画		現状分析		
	・費用対効果の検討 ・費用対効果が見込める場合は、実施に向けての調整	年間実施項目	実績		現状分析		
			②	計画		費用対効果の検討	予算要求
			実績		費用対効果の検討	予算要求	
			③	計画			
			実績				
	④	計画					
	実績						
	⑤	計画					
	実績						
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	—	計画通り 3	計画通り 3	—
6 / 6	-	費用対効果の検証を行い、予算要求を行ったが、人件費の削減効果より、必要となる経費の方が大きいとして、予算化されなかったため、本取組みは終了する。また、別件での法務局への出張が必須となっており、その際に登記申請を行えば費用をかけず効率よく業務実施可能	コメント		予定通りの進捗	予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容			年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度					
実施内容	出退勤システムを導入し、業務の効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究 ・費用対効果の検討 ・導入に向けた課題抽出	・予算措置 ・業者決定 ・実施	2018年度で取組み完了								
		目標効果額	-	-					-	-	-		
所管課	人事課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと				
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
2017年度	今年度の目標	年間実施項目	① 他市事例の研究	計画	他市事例の調査・研究								
			② 給与システムの更新に伴い、出退勤・人事評価システムの導入を検討	計画	他市事例の調査・研究（聞き取り、実地調査）								
			③	計画	導入検討								
			④	計画	次年度導入に向けた準備								
			⑤	計画									
	目標効果額	実績効果額											
	-	-											
	年間評価点	コメント	振り返り	給与システムの更新に伴う、オプションの付加等、業務効率化を行うための調整を行った。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12 /12		コメント	本年度実施した準備を活かして、次年度における新システムの運用開始をできるだけ早期に実施すること。									
	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
2018年度	今年度の目標	年間実施項目	① 給与システムの移行及び出退勤・人事評価システムの導入	計画	仕様書作成及び社内調整	プロボ・契約	システム移行・使用方法の職員周知	運用開始					
			②	計画	仕様書作成及び社内調整	契約	システム移行	テスト	運用				
			③	計画									
			④	計画									
			⑤	計画									
	目標効果額	実績効果額											
	-	-											
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	システム移行実施、今年度3月から運用開始	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
	11 /12	-	コメント	予定通りの進捗		システム移行、職員への周知を円滑に行うこと	1月に職員周知を行うこと	円滑な運用に留意すること					

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
実施内容	※2018年度の実施目標としていた「利用ルールの策定」を2019年度まで延長しました。	目標	・他市事例の研究	【利用ルールの策定を1年延長して2019年度まで実施】	・課題抽出 ・利用ルールの策定			・所管課の準備が整い次第、順次実施
	市の調査や統計データなどを民間に公表し、活用を促進する。	目標効果額	-	-	-	-	-	
	所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期

2017年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		①	他市の事例研究				他市の事例研究
	年間実施項目	・他市事例の研究	計画					
			実績					他市の事例研究
			②					
			計画					
			実績					
目標効果額	実績効果額							
-	-							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	他市事例が僅少なため、十分な事例研究には至らなかったが、地方公共団体情報システム機構の研究報告等を参考に、導入までのフローを確認した。				計画通り 3	
3 / 3	-						研究成果をルール策定に活用すること。	

2018年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	推進に際しての目的及び意義の確認と課題抽出	目的・意義確認	課題抽出			
	年間実施項目	・課題抽出 ・利用ルールの策定	計画						
			実績						
			②	利用ルールの策定					ルールの検討
			計画					ルールの検討	
			実績					データの棚卸し	
目標効果額	実績効果額								
-	-								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	利用ルールの策定には至らなかったが、市民にデータを開放するという目的のもと、ルール策定の基礎となる庁内データの棚卸しに着手した。				ほぼ計画通り 2		
11 / 12	-		課題抽出を行い、下半期のルール策定につなげることでできるだけ早期に利用ルールの策定に着手すること						

2019年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	利用ルールの策定	データの棚卸し	ルールの策定			
	年間実施項目	・所管課の準備が整い次第、順次実施	計画						
			実績						
			②	実施（市民等が活用できるようデータ開放）					所管課の準備が整い次第順次実施
			計画					ルールの策定、データ及び公開方法準備	
			実績					実施	
目標効果額	実績効果額								
-	-								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	利用ルールを策定し、棚卸しをした庁内データの整理及び公開方法を決め、オープンデータを実施したため、取り組み終了。				計画通り 3		
11 / 12	-		ルールを早く完成させ、次の段階に進むこと	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 3	計画通り 3	概ね予定通りの進捗		

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート		方針3	④・9	項目	施設予約システムの導入							
5年間の実施項目及び内容		年度 H29(2017)年度	H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度						
実施内容	施設予約システムの導入による業務効率化を検討する。	目標	・他事例の研究 ・導入に向けた課題抽出	・費用対効果の検討	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-	-	-	-		
所管課	施設再編室、生涯学習推進課及び他所管課 ※2019年度から所管課変更 【旧：生涯学習推進課及び他所管課】	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
平成29(2017)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	他事例の収集・研究	計画					収集		
	・他事例の研究 ・導入に向けた課題抽出	年間実施項目	②	本市の施設把握	計画					施設把握		
			③	導入に向けた課題抽出	計画					課題抽出		
			④		計画						抽出	
			⑤		計画							
			⑥		実績							
	目標効果額	実績効果額										
	年間評価点	コメント	振り返り	年内において意見聴取した際、予約システムであれば、施設予約だけでなく、相談業務等の予約も検討すべきとの意見があった。						ほぼ計画通り	2	
	2/3										出来る限り安価な方法での検討をきたい。	
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
今年度の目標		①	庁内検討会の開催	計画	開催	開催	開催	開催	開催	開催		
・費用対効果の検討	年間実施項目	②	施設別現状維持及びシステム導入必要性調査	計画	第1回 施設別調査	第2回	第3回	第4回	第5回			
		③	先進事例調査及び費用対効果の検討	計画						システム導入意向調査(市役所、社会教育施設等利用者及び市民)		
		④	導入の有無の検討	計画						他市における導入効果の把握		
		⑤	予算案と条例改正案の上げ(導入の場合)	計画						調査・検討		
		⑥		実績						仮決定		
目標効果額	実績効果額											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	予算要求を行うなど、次年度実施に向けた準備を行った。今後、具体的な仕様の検討を行う必要があるが、条例変更の必要はない。導入時に併せて規則の改正を行う予定である。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3
10/12	-			コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		第4四半期は課題解決に向けた検討を行うこと		次年度実施に向けた準備を確実にすること	
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
今年度の目標		①	庁内検討会の開催	計画	開催	開催	開催	開催	開催	開催		
・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施	年間実施項目	②	仕様の検討	計画	仕様の検討							
		③	プロポーザル方式による業者選定	計画	検討・決定							
		④	システム導入	計画	仕様検討中(入札へ変更)	入札実施				システムの構築		
		⑤	規則の改正	計画						構築		
		⑥		実績						構築		
目標効果額	実績効果額											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	複数部署にまたがるシステムであり、調整が難航する場面もあったが、今年度導入することができるとなった。予約については段階的な開始となるが、先行施設の動向に注視しつつ次年度に拡大を図っていく。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
9/12	-			コメント	仕様の決定を行うこと		予定通りの進捗		年度内に規則改正も実施すること		概ね予定通りの進捗	
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
今年度の目標		①	庁内検討会の開催	計画	開催	開催	開催	開催	開催	開催		
・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施	年間実施項目	②	運用のルール整備	計画	課題抽出	ルール整備			ルール見直し			
		③	仮予約できる施設の順次拡大	計画	課題共有	拡大の準備	課題共有		運用状況共有			
		④	口座振替機能の準備	計画		導入準備	導入準備		導入ルール検討			
		⑤		実績					QR決済やクレジット払い等、来庁不要な決済方法を検討			
		⑥		計画					導入ルール検討			
目標効果額	実績効果額											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	決済方法として口座振替に限らず、関係課と連携しキャッシュレス化の推進及び来庁不要な決済方法を進めていく方向性を共有したが、利害関係者との調整や運用方法の検討などが新たな課題として挙がってきた。	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り	3
9/12	-			コメント	予定通りの進捗		課題を解消し、進めていくこと		来庁不要な決済方法を検討していくこと		引き続き来庁不要な決済方法を検討していくこと	
実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
今年度の目標		①	総合公園における仮予約の実施	計画								
・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施	年間実施項目	②	庁内検討会の開催	計画	事業者の返答待ち	事業者の返答待ち	事業者の返答待ち	事業者の返答待ち	事業者と調整			
		③	電子納付等、来庁不要な決済方法の検討	計画	ニーズ調査	分析	指定管理者との調整	導入に向けた庁内調整				
		④	予算要求	計画								
		⑤		実績	施設休館により未実施	クレジット納付の検討	市庁舎をモデル事業に検討	庁舎モデルの見直しに伴い、再度、課題整理				
		⑥		計画								
目標効果額	実績効果額											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	総合公園の仮予約の実施については、一定の方向性を事業者と共有が図れたことから、前進していく道筋が見えた。電子納付については、再度、課題を整理する必要があるため、引き続き関係各課と課題の整理を進めていく。	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
9/12	-			コメント	導入を目的とした庁内検討会メンバーの見直しをするなど、電子納付等の検討を進めていくこと		指定管理者との調整に向けて、電子納付等の検討を進めること		予定通りの進捗 取納方法に係る先進事例の調査を進めてください。		予定通りの進捗 令和4年度以降も取り組みを継続すること	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017)年度	H 3 0 (2018)年度	R 1 (2019)年度	R 2 (2020)年度	R 3 (2021)年度							
実施内容	行政手続きにおける押印を可能な限り廃止することにより、市民の利便性向上、業務効率化を図る。	目標	2020年度(第3四半期)からの実施項目				現状把握の上、根拠のないものは廃止	法で必須なもの以外すべて廃止						
	目標効果額	-	-	-	-	-	-							
所管課	総務課、秘書政策課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み		実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと				
令和2(2020)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)							
	今年度の目標		①	他市事例等の研究 (国の押印廃止(発出予定)のガイドライン研究含む)				他市事例等の研究						
	・他市事例等の研究 ・現状の精査	年間実施項目	計画					情報収集中	情報収集、国ガイドライン発出	当市の廃止基準発出				
			実績					各課照会等による現状の精査	規則改正方法検討、窓口在り方会参加、議会情報提供	全庁へ押印廃止していく旨通知発出	全庁へ押印様式状況把握照会中			
	②	計画	現状の精査、状況把握、全庁通知の発出、取りまとめ											
		実績												
	③	計画	必要に応じて規則改正等の実施と順次廃止											
		実績								規則改正等、順次廃止				
	目標効果額	実績効果額	④											
			⑤											
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	順次根拠のない押印廃止は各課にて実施が始まっているが、コロナ禍により全庁的な様式の数、廃止等の進捗状況の把握は現在実施中である。来年度は状況を把握の上、順次引き続き実施していく。		進捗評価	—	—	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2		
	4 / 6	-	コメント	コロナ禍により、現状把握に遅れが生じているが、順次廃止にむけて取り組みは進んでいる										
令和3(2021)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)							
	今年度の目標		①	全庁の状況把握、精査				状況把握とりまとめ	状況把握	状況把握	状況把握			
	・規則改正等を随時実施し、法令改正等注視しつつ、必要の無いものについて順次廃止	年間実施項目	計画	必要に応じて規則改正等の実施と順次廃止				全庁へ照会 全庁の状況把握、精査中		順次、条例、規則改正等、廃止		押印廃止後の整理		
			実績					順次、条例、規則改正等、廃止中						
	②	計画												
		実績												
	③	計画												
		実績												
	目標効果額	実績効果額	④											
			⑤											
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	押印廃止はその必要性和許容性(押印に代わる手段の有無等)を考慮して個別具体的な判断を行うため、一定の時間等を要することから、目標とする押印廃止率を達成できるか懸念があった。しかし、全庁的に取組んだ結果、目標を達成することができた。なお、今後も国等の動向を注視して引き続き押印廃止を実施していく。		進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12/12	-	コメント	引き続き押印廃止の取り組みを進めること				(再掲) 引き続き押印廃止の取り組みを進めること						

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

5年間の実施項目及び内容			年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
実施内容	イベント実施及び参加、協力に係る基本方針を策定する。	目標	・他市事例の研究	・基本方針案の検討・策定	2018年度で取組み完了						
		目標効果額	-	検討後に設定					-	-	-
所管課	財政課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2017年度	今年度の目標		① 他市事例の収集	計画					収集の実施		
	・他市事例の研究	年間実施項目	②	計画					収集の実施		
			③	実績							
			④	計画							
			⑤	実績							
			⑥	計画							
	目標効果額	実績効果額									
	-	-									
	年間評価点	コメント	振り返り	目標達成 ただし、事例が少数であるため、今後もできる限り多くの事例を調査する。	進捗評価	-	-	-	計画通り	3	
	3 / 3				コメント				収集した事例を方針案策定に活用すること。		
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
2018年度	今年度の目標		① 庁内調整	計画	庁内調整						
	・基本方針案の検討・策定	年間実施項目	② 基本方針案の検討及び策定	計画	庁内調整		基本方針案の検討	基本方針案の策定			
			③	実績		基本方針案の検討	基本方針案の策定				
			④	計画		基本方針案の検討	基本方針案の策定				
			⑤	実績							
			⑥	計画							
	目標効果額	実績効果額									
	検討後に設定	-									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	方針策定により目標達成 今後は方針に基づき担当課が適宜対応。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12 / 12	-		コメント	第2四半期については前例して「基本方針案の検討」を実施。引き続き計画的に推進すること				予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート			方針3	⑥	項目	団体事務局事務に係る基本方針の策定					
5年間の実施項目及び内容			年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
実施内容	団体事務局事務に係る基本方針を策定する。		目標	・他市事例の研究	・基本方針案の検討 ・策定	2018年度で取組み完了					
	目標効果額		-	検討後に設定							-
所管課	財政課及びその他所管課		区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと	
2017年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標			① 他市事例の収集	計画 実績					収集の実施 収集の実施	
	・他市事例の研究	年間実施項目	②	計画							
				実績							
				③	計画						
				実績							
				④	計画						
	目標効果額	実績効果額	⑤	計画							
	-	-	実績								
	年間評価点	コメント	振り返り	目標達成 ただし、事例が少数であるため、今後も できる限り多くの事例を調査する。	進捗評価 コメント	-	-	-	計画通り 3 収集した事例を方針案策定 に活用すること。		
3 /3											
2018年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標			① 庁内調整	計画 実績	庁内調整					
	・基本方針案の検討 ・策定	年間実施項目	②	計画							
				実績							
				③	計画						
				実績							
				④	計画						
	目標効果額	実績効果額	⑤	計画							
	検討後に設定	-	実績								
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	方針策定により目標達成。 今後は方針に基づき担当課が適宜対応。	進捗評価 コメント	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3		
12 /12	-										

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0